

SHARP

取扱説明書（操作・設定編）

ネットワークカメラ

形名 **YK-D02BA**



このたびは、シャープ製ネットワークカメラ YK-D02BA（以下、本製品）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書（以下、本書）および、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

ご使用前に、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）に記載の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

本書の内容は、改良のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取扱説明書（基本編）、および、ソフトウェアは下記 URL よりダウンロードすることができます。

<https://jp.sharp/business/security-camera/>

もくじ

はじめに	3
■ 取扱説明書について.....	3
■ 本製品でできること.....	4
■ ご使用になる前に確認してください.....	5
アクセスしてパスワードを設定する	6
■ 事前準備.....	6
■ ActiveX コントロールを許可する.....	6
■ プロキシサーバーを無効にする.....	7
■ カメラにアクセスしてパスワードを設定する.....	7
操作する	9
■ 画面の見かた.....	9
■ クイックボタン.....	10
■ スナップショットを撮影する.....	10
■ 録画を開始/停止する.....	11
■ ライブビュー映像を拡大表示する.....	12
■ ePTZ 操作.....	13
■ ログアウトする.....	13
設定する	14
■ 設定.....	14
基本設定	15
■ システム設定.....	15
一般設定.....	15
ユーザー設定.....	16
日時設定.....	17
OSD設定.....	20
■ 映像/音声設定.....	21
ストリーム設定.....	21
スマート機能.....	23
画質の基本設定.....	25
■ ネットワーク設定.....	26
一般設定.....	26
IPv6 設定.....	27
HTTP/RTSP.....	27
HTTPS.....	28
DDNS.....	29
SNMP.....	30
■ メンテナンス.....	31

ファームウェア更新	31
設定のエクスポート/インポート	31
システム再起動	31
工場出荷時設定	32
詳細設定	33
■ システム設定	33
システムログ	33
■ 映像/音声設定	34
画質の詳細設定	34
ホワイトバランス調整	36
デイナイト	37
ROI	38
プライバシーマスク	39
音声	39
レンズ歪曲補正	40
■ ネットワーク設定	41
マルチキャスト	41
IP アドレスフィルター	42
UPnP	42
Bonjour	42
SDDP/ハートビート	43
MAC アドレスフィルター	43
IEEE 802.1x	44
■ スマートイベント	46
スマートイベント	46
IVS	48
モーション検知	49
妨害検知	49
高度なモーション検知	50
ラインクロス検知/カラー検知	50
カウント機能	52
音声検知	53
アラーム検知	53
ネットワーク障害検知	54
■ 通知	55
FTP 転送	55
メール通知	56
HTTP 通知	57
SD カード録画	58
SD カードバックアップ	59
Samba サービス	59
MQTT サービス	61

はじめに

■取扱説明書について

構成について

本製品の取扱説明書は、次の構成になっています。

- **取扱説明書（基本編）：本製品同梱**
安全上のご注意、設置時や使用時のお願い事項について記載しています。
本製品を使用する前に必ずお読みください。
- **取扱説明書（操作・設定編）：本書**
本製品を使用するにあたっての設定および操作方法について記載しています。

表記について

本書では、説明を簡単にするために「ネットワークカメラ」を「カメラ」、「ネットワーク・ビデオレコーダー」を「NVR」と表記します。本書では Microsoft Edge IE モードでの表示方式／設定方法で記載しています。

商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge、ActiveX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

免責事項

本書に記載の仕様、外観、画面表示などは予告なしに変更する場合があります。また、本書に記載の内容は本製品の仕様すべてを網羅するものではありません。あらかじめご了承ください。

■本製品でできること

製品概要

本製品は、マイクを内蔵したドームタイプの屋内専用ネットワークカメラです。

形名	画素数	焦点距離 [※]	防水・防塵性	圧縮形式
YK-D02BA	約 210 万画素	2.8mm	—	H.264/H.265

※レンズの中心からイメージセンサーまでの距離となります。

特長

●高圧縮

最新の動画圧縮規格 H.265 に準拠しており、H.264/H.265 形式でのマルチストリーミングが可能です。

●PoE 給電対応

PoE 給電に対応。ネットワークケーブルで電源を供給できるため、配線処理作業を効率化できます。

●Web ブラウザー対応

Microsoft Edge IE モードに対応しています。

主な機能

- 動画圧縮規格 H.264 および H.265 形式に準拠
- メールまたは FTP を介したスナップショットアラーム通知
- デイモード/ナイトモード機能を搭載
- モーション検知機能を搭載
- ネットワークタイムプロトコル (NTP) に対応
- ONVIF プロトコルに対応

■ご使用になる前に確認してください

接続する機器の推奨仕様について

本製品と接続して使用する機器の推奨仕様は、次のとおりです。

●パソコンの推奨仕様

対応 OS	: Windows10
Web ブラウザー	: Microsoft Edge IE モード
CPU	: Core i5 第7世代以降
メモリ	: 8GB 以上
グラフィックボード	: NVIDIA

●LAN ケーブルの推奨仕様

カテゴリ	: 5e 以上
長さ	: 100m 以下

100m を超える場合は PoE ハブ等の電源供給機を併用ください。

●記録媒体の推奨仕様

種類	: microSD メモリーカード
容量	: 128GB 以下
SD スピードクラス	: CLASS10
フォーマット形式	: FAT32 (本製品にてフォーマットすることを推奨します。フォーマット方法は本書「SD カード録画」の【フォーマット】(P.59) をご確認ください。)

ユーザータイプ

本製品は、誤操作や不正な操作を防ぐため、ユーザーごとに操作できる機能を制限できます。ユーザーは次の3タイプに分けられます。詳しくは、本書「ユーザー設定」(P.16) をご確認ください。

●管理者

すべての操作・設定を実行できます。

●操作者

管理者権限、クイックボタン操作権限、PTZ 操作を選択できます。デフォルトはクイックボタン操作権限/PTZ 操作のチェックボックスがオンになっています。

●ゲスト

ライブビューの視聴とプロファイルの変更のみできます。

使用時の制約事項

本製品では、各操作や機能において次のような制約事項があります。内容をよくご確認の上、ご使用ください。

●再起動について

システムに過度の負荷がかかったとき、本製品は自動的に再起動する場合があります。

●動画(ライブビュー/再生)の表示について

フレームレート、解像度などの設定組み合わせ、あるいは、パソコンの性能によってはなめらかに表示されない場合があります。

●遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」について

本製品は、弊社が提供している遠隔視聴サービス「シャープモバイルビューイング」の公式アプリ「SHARP ビュー」に非対応です。本製品の映像を離れた場所から視聴される場合は、本製品をインターネットに接続した上で、パソコンの Web ブラウザーからアクセスしてください。あるいは、本製品を弊社製 NVR に接続した上で、NVR をインターネットに接続し、パソコン、あるいはモバイル機器の Web ブラウザーからアクセスしてください。

遠隔視聴の詳しい設定方法については、お買いあげの販売店または弊社営業担当にご確認ください。

アクセスしてパスワードを設定する

■ 事前準備

- 取扱説明書（基本編）の「システム構成」に記載の構成で、カメラ、パソコンおよび PoE 給電機能付きネットワークスイッチ（NVR でも可）等を接続してください。
- 本製品にアクセスする前に、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

■ ActiveX コントロールを許可する

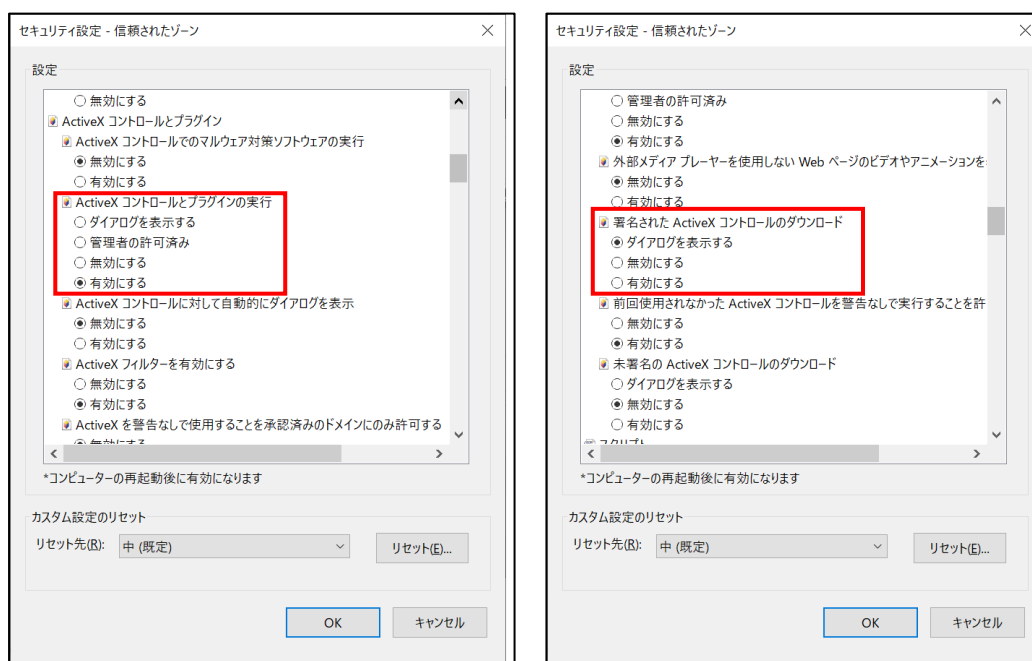
ライブビューを視聴するためには ActiveX コントロールが必要です。ActiveX コントロールのパソコン上での動作を許可するために、次の設定を実施してください。

1. パソコンの【セキュリティ設定】画面を開きます。

パソコンの【スタート】ボタンをクリックし、【コントロールパネル】から、【インターネットオプション】>【セキュリティ】>【レベルのカスタマイズ】を開きます。

2. 【ActiveX コントロールとプラグイン】の項目を設定します。

【ActiveX コントロールとプラグインの実行】で【有効にする】を選択し、【署名された ActiveX コントロールのダウンロード】で【ダイアログを表示する】を選択し、設定を保存します。



(Windows10 設定画面)

メモ：

- ご使用のパソコンによって設定画面や項目名称が異なります。

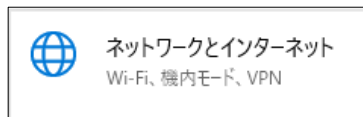
■プロキシサーバーを無効にする

ネットワークの設定でプロキシサーバーが有効になっていると、カメラに正常にログインできません。以下の手順でプロキシサーバーを無効にしてください。

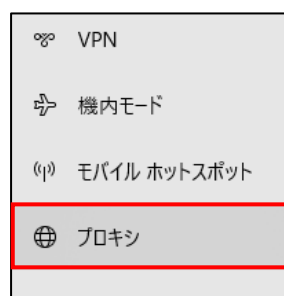
1. Windows の【設定】を開きます。



2. 【ネットワークとインターネット】を開きます。

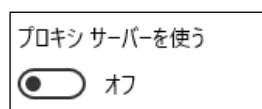


3. 【プロキシ】を開きます。



4. プロキシサーバーを無効にします。

プロキシの【プロキシサーバーを使う】をオフにします。



ご注意：

- 上記手順は、Windows10 の場合の操作となります。

■カメラにアクセスしてパスワードを設定する

パソコンの Web ブラウザーを介してカメラにアクセスします。セキュリティの観点から、カメラにはじめてアクセスした際にユーザー名とパスワードを作成する必要があります。

アクセスしてパスワードを設定する

1. パソコンとカメラを同一ネットワークに接続します。

パソコンのネットワーク設定方法については、パソコンの取扱説明書をご確認ください。

2. パソコンで Web ブラウザーを起動し、アドレスバーにカメラの初期 IP アドレスを入力後、エンターキーを押します。本製品の初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。

カメラのパスワード作成画面が表示されれば、アクセス成功です。

ご注意：

- ネットワークのプロキシサーバーを無効にしてください。プロキシサーバーが有効になっていると正常にログインできません。

メモ：

- Web ブラウザーは Microsoft Edge IE モードをご使用ください。
- JPEG またはフル HD ビデオを表示するには、ActiveX コントロールが必要です。インストールを要求する警告ダイアログが表示された場合は、画面の表示に従ってインストールしてください。
- 使用可能な IP アドレスについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

3. パスワード作成画面で、ユーザー名とパスワードを入力します。



4. [パスワードを作成] ボタンをクリックしてパスワードを設定します。

メモ：

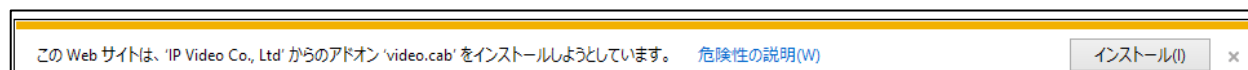
- 設定したユーザーが管理者権限を持ちます。
- アルファベットの大文字と小文字は識別されます。
- パスワードは、8 文字以上、かつ、アルファベットの大文字、小文字、数字 (0~9)、記号 (~ ? / + = , ; . ' @ # ¥ % ^ & * () _ -) の中から 3 種類以上の文字を含める必要があります。

ご注意：

- ユーザー名およびパスワードといった認証情報は、お客様ご自身の責任で適切に保管してください。
- 万一認証情報を忘れた場合は、本書「工場出荷時設定」(P.32)に記載の手順で工場出荷時状態にリセットしてください。

5. ActiveX コントロールをダウンロードします。

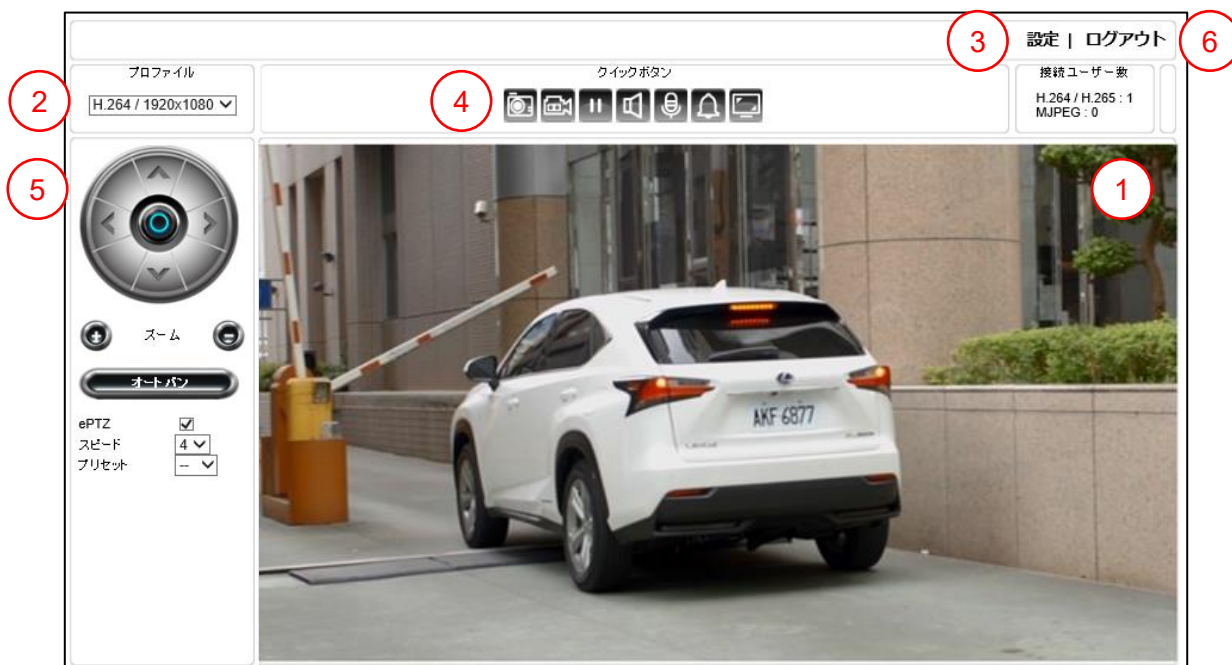
カメラに初めてアクセスした際、ActiveX コントロール (video.cab) に関するセキュリティ警告ダイアログが表示される場合があります。表示された場合は[インストール]をクリックし、ActiveX コントロールをインストールしてください。



操作する

■画面の見かた

本製品のメイン画面の構成について説明します。










- | | |
|-------------|---------------------------------|
| ①ライブビュー画面 | : ストリーミング映像を表示します。 |
| ②プロフィール | : プロファイルを切り替えます。 |
| ③設定 | : 設定画面を表示します。 |
| ④クイックボタン | : 各機能を実行します。 |
| ⑤ePTZ 操作パネル | : ePTZ (デジタルパン・チルト・ズーム) を操作します。 |
| ⑥ログアウト | : ログアウトします。 |

メモ:

- 選択できるプロフィールは、[設定] > [映像/音声] > [ストリーム] から設定できます。
- ePTZ 操作パネルでは、画像処理を使ってパン・チルト・ズーム操作をおこないます。ROI が有効の場合、ePTZ ではなく ROI 有効と表示されますが、操作方法は同じです。ROI については本書「詳細設定 - 映像/音声設定 - ROI」(P.38) の項目をご参照ください。
- 操作者ユーザーの場合、設定によっては「設定」ボタンやクイックボタンが表示されません。
- ゲストユーザーの場合、「設定」ボタン、クイックボタンは表示されません。

■ クイックボタン

クイックボタンの各機能は次の通りです。


アイコン	説明
	スナップショットを撮影します。
	録画を開始／停止します。
	録画を一時停止します。
	スピーカーの有効／無効を切り替えます。
	PC のマイクの有効／無効を切り替えます。
	アラーム端子にアラームを出力／出力しないを切り替えます。
	ライブビュー画面の拡大表示／通常表示を切り替えます。

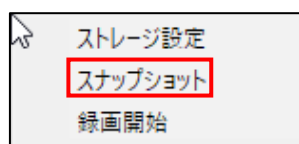
メモ：

- スナップショットおよび録画を開始するには、Microsoft Edge の IE モードの設定で、カメラを信頼済みサイトに登録しておく必要があります。
信頼済みサイトに登録するには、コントロールパネル > [インターネットオプション] > [セキュリティ] を開きます。[信頼済みサイト] > [サイト] ボタンを選択し、「この Web サイトをゾーンに追加する」の入力欄に登録するカメラのアドレスを入力し、[追加] ボタンをクリックしてください。ブラウザの再起動を行ってから、カメラに再度ログインしてください。
- アラーム端子にアラームを出力しない状態においても、[スマートイベント] の [実行] にアラーム出力が設定されていて、イベントが発生した場合、アラームが出力されます。
- PC のマイクを有効にすることにより、カメラに外付けスピーカーを取り付け時、PC から の音声を発生させることができます。

■ スナップショットを撮影する

スナップショットを撮影する方法は 2 通りあります。

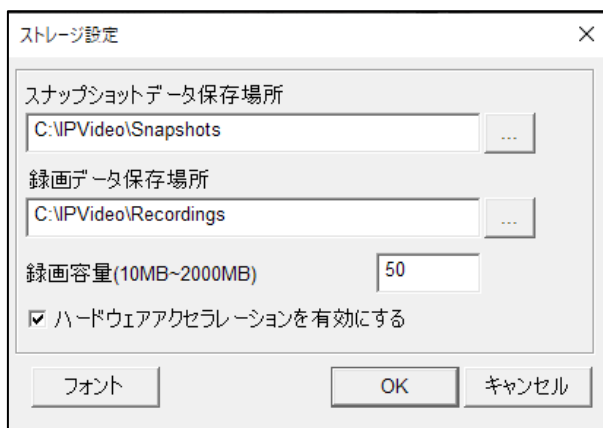
- クイックボタンの  をクリックする
- ライブビュー画面上で右クリックし、メニューから [スナップショット] をクリックする



ご注意：

- 管理者権限が無い場合、メニューが表示されません。

取得したスナップショットは、[ストレージ設定] で設定しているフォルダに保存されます。



- **スナップショットデータ保存場所**：スナップショットの保存フォルダを設定します。
- **録画データ保存場所**：録画データの保存フォルダを設定します。
- **録画容量**：保存ファイルのデータサイズを設定します。
- **ハードウェアアクセラレーションを有効にする**：有効の場合、録画処理を効率化します。
- **フォント**：フォント設定画面が表示されます。設定内容は ActiveX OSD 表示に適用されます。

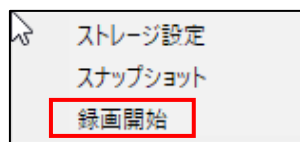
メモ：

- データ保存場所のパスは半角英数字の必要があります。
- 使用しているパソコンの環境によっては、ハードウェアアクセラレーションを有効にすると正しく動作しない場合があります。
- ActiveX OSD 表示は、[設定] > [システム] > [一般設定] の「ActiveX OSD 表示」を有効にすることで表示されます。

■ 録画を開始／停止する

録画を開始／停止する方法は2通りあります。

- クイックボタンの をクリックすると録画を開始します。録画中にクイックボタンの をクリックすると録画が停止します。
- ライブビュー画面上で右クリックして、表示されるメニューから [録画開始] をクリックすると録画を開始します。録画中にライブビュー画面上で右クリックして [録画停止] をクリックすることで、録画が停止します。



ご注意：

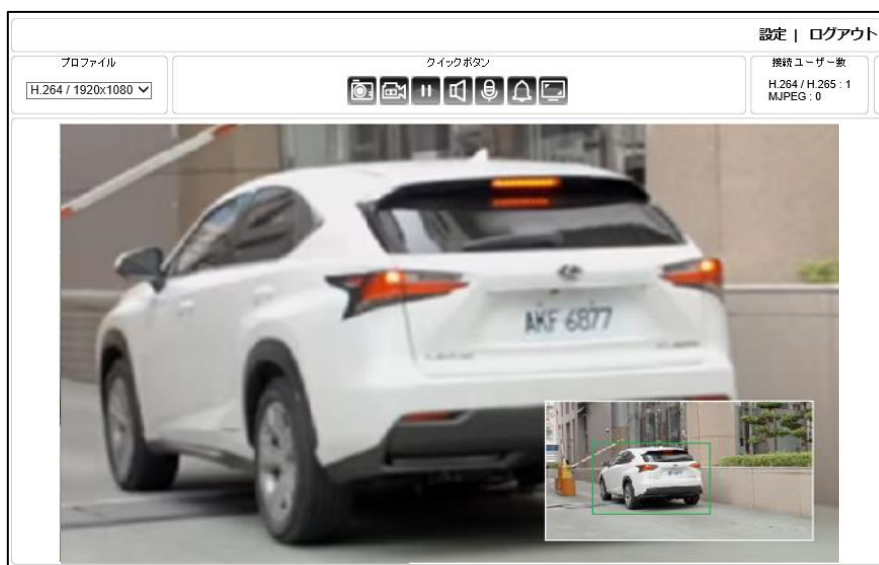
- 管理者権限が無い場合、メニューが表示されません。



取得した録画データは、[ストレージ設定] で設定しているフォルダに保存されます。

■ ライブビュー映像を拡大表示する

ライブビュー画面を大きく表示する方法は次項で記述する ePTZ 操作を除いて3通りあります。

- ライブビュー画面をダブルクリックする
ライブビュー画面がモニターに全画面表示されます。再度ダブルクリックすると、元の表示に戻ります。
- ライブビュー画面の中でドラッグする
ドラッグした範囲の左上を起点として、一定の範囲をデジタルズームして拡大表示します。右下に表示される枠内で緑の外枠を移動させることで、拡大箇所を変更することもできます。右クリックすると元の表示に戻ります。




- クイックボタンの  をクリックする
ライブビュー画面が大きく表示されます。クイックボタンの  をクリックすると元の表示に戻ります。

■ ePTZ 操作

ePTZ 操作パネルでは、画像処理を使って仮想的にパン・チルト・ズーム操作することができます。



- ① **パン・チルト** : ズームインしている時、矢印をクリックするとその方向にライブビュー表示が移動します。中央の  をクリックするとすべての ePTZ 操作を解除して元の表示に戻ります。
- ② **ズーム** : デジタルズームイン/ズームアウトします。
- ③ **オートパン** : プリセットを順番に表示します。
- ④ **ePTZ** : チェックボックスをオンにすると ePTZ 操作が有効になります。
- スピード** : ePTZ 操作の速度を調整します。値が大きい程、1 度のクリックでの変化量が大きくなります。
- プリセット** : 設定したプリセット位置に画面を移動します。プリセットは、[設定] > [詳細モード] > [映像/音声] > [ROI] から設定します。

メモ :

- ROI を有効にしている場合、ePTZ は ROI 有効と表示されますが、操作方法は同じです。
- ROI の有効/無効は、[設定] > [詳細モード] > [映像/音声] > [ROI] から設定できます。

■ ログアウトする

メイン画面の [ログアウト] ボタンをクリックしてログアウトします。

設定 | ログアウト

設定する

■ 設定

管理者または管理者権限のある操作者でログインしている場合、Web ブラウザーから本製品の設定を変更することができます。

メイン画面の「設定」ボタンをクリックして設定画面を表示します。



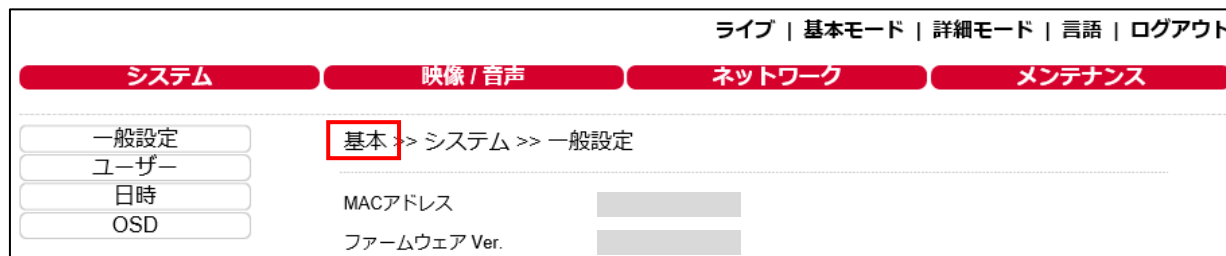
メモ：

- ゲストユーザーまたは管理者権限のない操作者ユーザーの場合は、設定ボタンが表示されません。
- 設定画面に移る際には、ライブビュー画面でのマイク/スピーカーは無効にしてください。

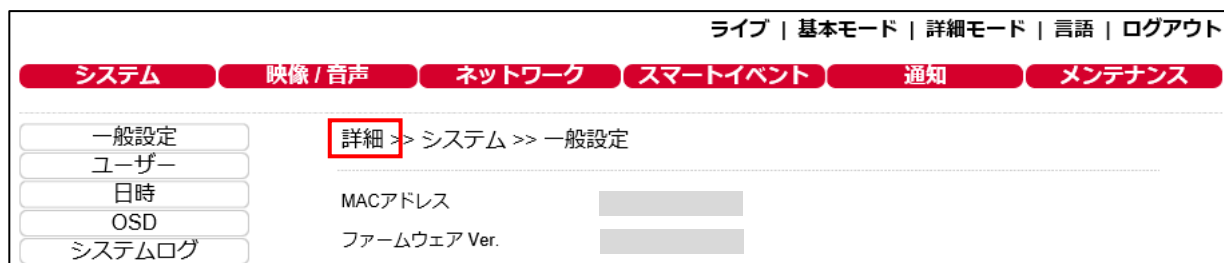
本製品の設定には「基本モード」と「詳細モード」があります。

「基本モード」は「詳細モード」の項目のうち、使用頻度の高い項目を設定できます。本書では、まず「基本モード」について説明し、その後、「詳細モード」にしかない設定項目について説明します。

<基本モード>



<詳細モード>



基本設定

基本的な設定について説明します。

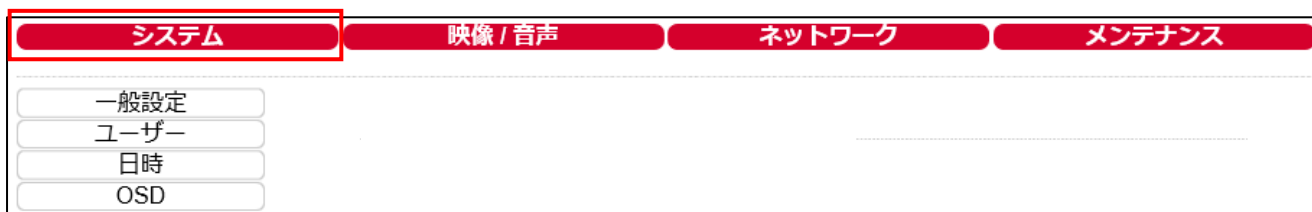
設定画面の「基本モード」を選択します。



■ システム設定

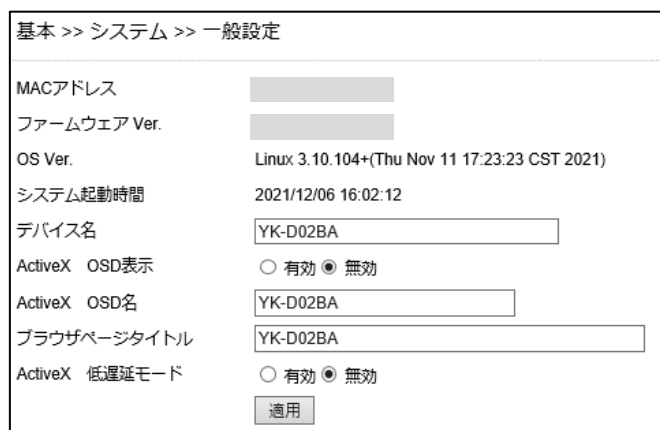
システムについて設定するには、設定画面の「システム」タブを選択します。

左側に表示される「一般設定」「ユーザー」「日時」「OSD」のメニューから確認または設定する項目を選択します。



一般設定

[システム] > [一般設定] より、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、OS バージョン、システム起動時間、デバイス名などを閲覧することができます。デバイス名や ActiveX OSD 名、ブラウザページタイトルは、本画面から変更できます。



- **MAC アドレス** : カメラの MAC アドレスを表示します。
- **ファームウェア Ver.** : カメラのファームウェアバージョンを表示します。
- **OS Ver.** : カメラの OS バージョンを表示します。
- **システム起動時間** : 最後にシステムが起動された日時を表示します。
- **デバイス名** : カメラを識別するためのデバイス名を入力します。
- **ActiveX OSD 表示** : [有効] にすると「Active X OSD 名」をライブビュー画面に表示します。また、この文字列は、ライブビュー画面での録画の際のファイル名の一部として使われます。

- **ActiveX OSD 名** : ライブビュー画面に表示する文字列を入力します。
- **ブラウザページタイトル** : Web ブラウザーのタブに表示する文字列を入力します。
- **ActiveX 低遅延モード** : 有効の場合、ライブビューの遅延を低減します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

ユーザー設定

本製品には、最大で 10 名分のユーザーアカウントを登録することができます。アカウントごとにユーザーグループ（アクセス権限）を設定することが可能です。

[システム] > [ユーザー] を選択し、ユーザー設定画面を表示します。

・ユーザーアカウントを追加する

新しいユーザーアカウントを追加するには、ユーザー設定画面で [ユーザー追加] を選択します。

ユーザー名とパスワードを入力し、パスワード確認欄に再度パスワードを入力します。次に、ユーザーグループを管理者/操作者/ゲストから選択します。[適用] をクリックしてユーザーを追加します。

ユーザー名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
	パスワードは以下の基準に従って設定してください: (1)8文字以上 (2)アルファベットの大文字、小文字、数字、記号 (3)3種類以上の文字を含む
パスワード確認	<input type="password"/>
ユーザーグループ	<input type="radio"/> 管理者, <input checked="" type="radio"/> 操作者, <input type="radio"/> ゲスト
管理者権限	<input type="checkbox"/>
クイックボタン操作権限	<input checked="" type="checkbox"/>
PTZ操作	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

メモ:

- 操作者の場合、権限の範囲を設定できます。
「管理者権限」のチェックボックスがオンの場合、クイックボタン操作と PTZ 操作以外はすべての操作、設定ができます。
ライブビュー画面上での右クリック動作は、「管理者権限」のチェックボックスがオンの場合のみ使用可能です。
「クイックボタン操作権限」のチェックボックスがオンの場合、ライブビュー画面にクイックボタンが表示され、スナップショット、録画などの操作ができます。
「PTZ 操作」のチェックボックスがオンの場合、ライブビュー画面に ePTZ 操作パネルが表示され、ePTZ 操作ができます。
- ゲストの場合、ライブビュー映像は視聴できますが、その他の操作・設定はできません。

・ユーザーアカウントを編集する

ユーザーアカウントの編集では、ユーザーのパスワードおよびユーザーグループを変更できます。ユーザーが操作者の場合は、その権限の範囲を変更できます。

[ユーザー] のドロップダウンリストから該当するユーザーを選択し、[ユーザー編集] をクリックします。ユーザー情報を編集後、[適用] をクリックしてユーザー情報を保存します。

ユーザー名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="text"/>
	パスワードは以下の基準に従って設定してください: (1)8文字以上 (2)アルファベットの大文字、小文字、数字、記号 (3)3種類以上の文字を含む
パスワード確認	<input type="text"/>
ユーザーグループ	<input type="radio"/> 管理者、 <input type="radio"/> 操作者、 <input checked="" type="radio"/> ゲスト
管理者権限	<input type="checkbox"/>
クイックボタン操作権限	<input type="checkbox"/>
PTZ操作	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

・ユーザーアカウントを削除する

ユーザーを削除するには、[ユーザー] のドロップダウンリストから該当するユーザーを選択し [ユーザー削除] をクリックします。確認ダイアログで [OK] をクリックしユーザーを削除します。

基本 >> システム >> ユーザー	
ユーザー	Guest ▼
<input type="button" value="ユーザー追加"/>	<input type="button" value="ユーザー編集"/> <input checked="" type="button" value="ユーザー削除"/>

日時設定

[システム] > [日時] から、本製品の日時設定を変更できます。

・NTP サーバーと同期する

NTP サーバーと同期させるには、NTP サーバーと同期を「1 時間毎」に変更し、使用する NTP サーバーを選択します。本製品のシステム日時が 1 時間毎に NTP サーバーと同期されるようになります。

基本 >> システム >> 日時	
サーバー時刻	Wed, 15 Sep 2021 16:14:51 GMT+0900
NTPサーバーと同期	<input checked="" type="radio"/> 1時間毎 <input type="radio"/> オフ
NTPサーバー	User define ▼ <input type="text" value="ntp.nict.jp"/>
タイムゾーン	(GMT +09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo ▼
日付と時刻	2021 ▼ / 9 ▼ / 15 ▼ 16 ▼ : 14 ▼ : 51 ▼ <input type="button" value="パソコンと時間を合わせる"/>
サマータイム	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
サマータイム 開始日時	1 ▼ / 1 ▼ 0 ▼ (月/日/時)
サマータイム 終了日時	12 ▼ / 31 ▼ 23 ▼ (月/日/時)
休日リストを有効	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="適用"/>	

メモ:

- この機能を利用するには本製品をインターネットに接続してください。
- NTP サーバーの初期値は「ntp.nict.jp」です。

・時刻を手動設定する／パソコンと時刻を合わせる

日付と時刻のドロップダウンメニューから日付と時刻を選択し、[OK] をクリックして適用します。「パソコンと時間を合わせる」をクリックすると、自動的にパソコンの時刻が入力されます。

基本 >> システム >> 日時

サーバー時刻 Wed, 15 Sep 2021 16:14:51 GMT+0900

NTPサーバーと同期 1時間毎 オフ

NTPサーバー User define ntp.nict.jp

タイムゾーン (GMT +09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

日付と時刻 2021 / 9 / 15 16 : 14 : 51

サマータイム オン オフ

サマータイム 開始日時 1 / 1 0 (月/日/時)

サマータイム 終了日時 12 / 31 23 (月/日/時)

休日リストを有効

メモ：

- この機能を利用するには NTP サーバーと同期をオフにしてください。

・サマータイムを設定する

サマータイムを有効にするには、サマータイムで「オン」を選択します。開始日時と終了日時を設定します。[適用] をクリックして設定を適用します。

基本 >> システム >> 日時

サーバー時刻 Wed, 15 Sep 2021 16:14:51 GMT+0900

NTPサーバーと同期 1時間毎 オフ

NTPサーバー User define ntp.nict.jp

タイムゾーン (GMT +09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

日付と時刻 2021 / 9 / 15 16 : 14 : 51

サマータイム オン オフ

サマータイム 開始日時 7 / 1 0 (月/日/時)

サマータイム 終了日時 9 / 31 23 (月/日/時)

休日リストを有効

ご注意：

- NTP が有効でないとサマータイムの項目は設定できません。

・休日リストを有効にする

「休日リストを有効」のチェックボックスをオンにすると、休日リストを設定できます。

休日リストは、詳細モードにおいて、スマートイベントのスケジュールに反映することができます。設定しておくことで、スマートイベントで複数のトリガーを設定する場合に、スケジュール設定を簡略化できます。

休日リストを有効 <input checked="" type="checkbox"/>									
選択	名前	開始日時 (月-日 時:分)				終了日時 (月-日 時:分)			
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59
<input type="checkbox"/>		1	1	0	0	12	31	23	59

- ・ **名前** : 休日リストの名前を入力します。
- ・ **開始日時** : 開始日時を設定します。
- ・ **終了日時** : 終了日時を設定します。

OSD設定

OSD（On Screen Display）とは、映像上にシステム情報を表示する機能です。

[システム] > [OSD] から、日付、カメラID、ステータスおよび透かしについて、OSDの表示／非表示の切り替えや、文字の色を設定することができます。



- **OSD 文字サイズ** : OSD テキストのサイズを選択します。
- **元の位置に戻す** : OSD 表示の位置を初期の位置に戻します。
表示位置は、画面上で各 OSD 表示位置をドラッグすることで変更できます。

OSD 表示について、次の項目を設定できます。

- **OSD** : 有効／無効を選択します。
- **文字カラー** : テキストの色を選択します。
- **背景カラー** : テキストの背景の色を選択します。
- **透過度** : 背景の透過度を選択します。255 にすると不透過になります。

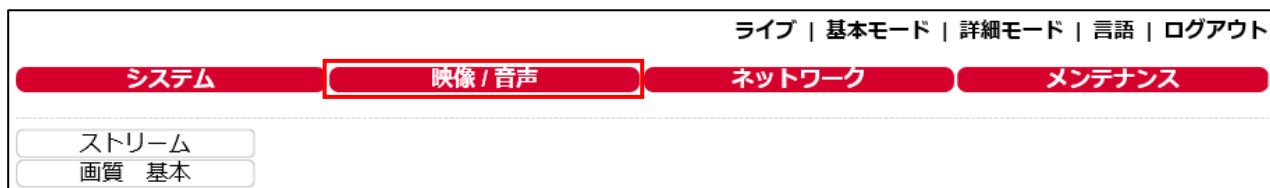
日時については、[OSD 時刻タイプ] で年月日の表示方法を選択できます。

ステータスについては、文字カラー（白）と背景カラー（赤）は固定となり選択できません。

透かしは、データ種類を「ユーザー定義」「透かしデータ」から選択できます。

■映像／音声設定

映像/音声について設定するには、設定画面の「映像／音声」タブを選択します。左側に表示される「ストリーム」「画質 基本」のメニューから、確認または設定する項目を選択してください。



ストリーム設定

「映像／音声」 > 「ストリーム」 からストリーム情報を設定できます。

インターネットなど、帯域幅の狭いネットワークを介して映像を送信する場合は、実際にアップロードを実行する帯域幅に近いビットレートを設定してください。本製品はビットレート設定に基づいてフレームをエンコードします。

基本 >> 映像 / 音声 >> ストリーム	
H.264プロファイル	: <input type="radio"/> メインプロファイル <input checked="" type="radio"/> ハイプロファイル
エンコーダー-2	: <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
エンコーダー-3	: <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
蛍光灯ちらつき低減	: <input checked="" type="radio"/> 60Hz <input type="radio"/> 50Hz
HDR	: <input type="radio"/> 無効
エンコーダー-1	
(エンコーダー-1の出力フレームレートを60にするためにはエンコーダー-2とエンコーダー-3を無効にする必要があります)	
プロファイル	<input type="text" value="H.264"/>
解像度	<input type="text" value="1920x1080"/>
フレームレート	<input type="text" value="30"/>
キーフレーム間隔	<input type="text" value="30"/>
ビットレート制御設定	<input type="text" value="VBR"/>
ビットレート	<input type="text" value="2 Mbps"/>
RTSP URL	rtsp://192.168.0.200:554/stream0
エンコーダー-2	
プロファイル	<input type="text" value="H.264"/>
解像度	<input type="text" value="736x720"/>
フレームレート	<input type="text" value="15"/>
キーフレーム間隔	<input type="text" value="15"/>
ビットレート制御設定	<input type="text" value="VBR"/>
ビットレート	<input type="text" value="1 Mbps"/>
RTSP URL	rtsp://192.168.0.200:554/stream1
エンコーダー-3 サービスなし	
エンコーダー-4	
プロファイル	<input type="text" value="JPEG"/>
解像度	<input type="text" value="352x240"/>
フレームレート	<input type="text" value="15"/>
画質	<input type="text" value="80"/>
RTSP URL	rtsp://192.168.0.200:554/stream3
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="初期値に戻す"/>	

ストリーム全体について、以下の項目を設定できます。

- **H.264 プロファイル** : メインプロファイルかハイプロファイルを選択します。
- **エンコーダー-2** : エンコーダー-2の有効／無効を選択します。
- **エンコーダー-3** : エンコーダー-3の有効／無効を選択します。
- **蛍光灯ちらつき低減** : 本製品を使用する地域の電源周波数を選択します。蛍光灯による映像のちらつきを低減します。
- **HDR** : HDR (High Dynamic Range) の有効／無効を選択します。有効にすると、再起動後に有効になる旨のダイアログが表示され、[OK] をクリックするとカメラが再起動します。再起動するとエンコーダー-2は無効になります。サブストリームとして、エンコーダー-2を使用している場合は、エンコーダー-3を有効にしてください。

エンコーダー 1 から 4 の各プロファイルについて設定できます。

- **プロファイル** : 映像圧縮規格を JPEG/H.264/H.265 から選択します。エンコーダー4 は JPEG のみしか選択できません。
- **解像度** : 映像ストリームの解像度を選択します。
- **フレームレート** : 映像のフレームレートを選択してください。
- **キーフレーム間隔** : キーフレーム間のフレーム数を選択してください。値が大きくなる程圧縮率が高くなり、値が小さくなる程動きの速い映像を滑らかに表示することができます。
- **ビットレート制御設定** : VBR (可変ビットレート) / CBR (固定ビットレート) / スマートから選択してください。CBR より VBR の方が使用する帯域幅を抑えることができます。スマートを選択すると映像をより圧縮することができます。
- **ビットレート** : 画質、録画時間、ネットワーク環境から最適なビットレートを設定します。
- **RTSP URL** : RTSP (Real Time Streaming Protocol) を介して映像ストリームにアクセスする際の URL を表示します。

ご注意 :

- 本製品を NVR に接続している場合、NVR 側の設定が優先されます。

メモ :

- 解像度は、設定値と実際の解像度に若干の差異が生じる場合があります。
- ビットレート制御設定で「スマート」を選択すると、後述の「スマート機能」を有効化します。圧縮化する際の指標となる項目を設定できます。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

スマート機能


本製品では、「スマート機能」を使ってより高い圧縮率を実現できます。

「スマート機能」を有効化するには、「映像/音声」>「ストリーム」の「ビットレート制御設定」で「スマート」を選択します。

エンコーダー1	
プロファイル	H.264 ▼
解像度	3008x3000 ▼
フレームレート	25 ▼
キーフレーム間隔	25 ▼
ビットレート制御設定	スマート ▼
スマートモード	自動 ▼
文字画質	0 ▼ (高:-15~低:15)
背景画質	0 ▼ (高:-15~低:15)
感度	30 ▼ (高:1~低:99)
ビットレート	5 Mbps ▼
RTSP URL	rtsp://192.168.0.200:554/stream0

- スマートモード** : 自動/エリア/ハイブリッドから選択します。自動は移動している物体を検知しそれ以外の領域を高圧縮します。エリアはウィンドウで設定した関心領域以外の領域を高圧縮します。ハイブリッドは移動体および、関心領域以外の領域を高圧縮します。
- 文字画質** : 関心領域や移動体の圧縮の程度を設定します。文字画質が低い（数値が大きい）ほど圧縮率が高くなります。
- 背景画質** : 関心領域以外の領域や動きが少ない領域の圧縮の程度を設定します。背景画質が低い（数値が大きい）ほど圧縮率が高くなります。
- 感度** : 移動している物体を検知する感度を設定します。感度が高い（数値が小さい）ほど圧縮率が高くなります。

スマートモードで「エリア」または「ハイブリッド」を選択すると、カメラ映像が表示され、ウィンドウ有効エリア（関心領域）を設定できます。

ビットレート制御設定	スマート
スマートモード	自動 エリア ハイブリッド
文字画質	0 (高:-15~低:15)
背景画質	0 (高:-15~低:15)
感度	30 (高:1~低:99)
ウィンドウ有効	<input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4
	
ビットレート	3 Mbps
RTSP URL	rtsp://192.168.0.200:554/stream0

ウィンドウ有効エリア（関心領域）は4箇所まで設定できます。ウィンドウ有効のチェックボックスをオンにし、領域を設定してください。領域は、カメラ映像上でマウスを操作することでサイズや位置を変更できます。

画質の基本設定

〔映像／音声〕 > 〔画質 基本〕 からデイモード、ナイトモードそれぞれについて、3Dノイズリダクション、明るさ、コントラスト、色合い、彩度、およびシャープネスを設定できます。デイモード、ナイトモードで設定を独立させることで、それぞれで最適な映像画質が得られます。



〔デイモード〕〔ナイトモード〕ボタンで設定するモードを選択します。デイモードはカラー映像、ナイトモードはモノクロ映像となります。

- **左右反転 (ミラー)** : [オン] の場合、映像を左右反転します。
- **上下反転 (フリップ)** : [オン] の場合、映像を上下反転します。
- **3D ノイズリダクション** : 暗所のノイズが目立つ場合、必要に応じて高く設定します。
- **明るさ** : 明るさを調整します。
- **コントラスト** : コントラストを調整します。
- **色合い** : 色合いを調整します。
- **彩度** : 彩度を調整します。
- **シャープネス** : シャープネス (輪郭の強調) を調整します。

※左右反転／上下反転／回転に関しては、デイ／ナイトモード共通項目となります。

ご注意：

- ストリーム設定で HDR を [有効] にしている場合、明るさの項目が表示されません。

各項目の設定を変更すると、設定した内容が適用されます。

■ ネットワーク設定

ネットワークについて設定するには、設定画面の「ネットワーク」タブを選択します。左側に表示される「一般設定」「IPv6設定」「HTTP/RTSP」「HTTPS」「DDNS」「SNMP」のメニューから、確認または設定したい項目を選択してください。



一般設定

【ネットワーク】>【一般設定】では、本製品をネットワークに接続するための基本設定を行います。お使いのパソコンと本製品を同一ネットワークに接続し、Web ブラウザーにこの IP アドレスを入力することで、パソコンから本製品にアクセスできます。

基本 >> ネットワーク >> 一般設定

ネットワーク 固定 DHCP PPPoE

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

プライマリDNS

セカンダリDNS

ユーザー名

パスワード

QoS(DSCP) (0-63)

2番目のIPアドレス 有効 無効

2番目のIPアドレス

2番目のサブネットマスク

3番目のIPアドレス 有効 無効

3番目のIPアドレス

3番目のサブネットマスク

本製品のローカルエリアネットワークを設定するには、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS を入力した後、[適用] をクリックします。

- **ネットワーク** : 固定/DHCP/PPPoE から選択します。
- **IP アドレス** : IP アドレスを設定します。デフォルトは 192.168.0.200 です。
- **サブネットマスク** : サブネットマスクを設定します。デフォルトは 255.255.255.0 です。
- **ゲートウェイ** : ゲートウェイを設定します。デフォルトは 192.168.0.1 です。
- **プライマリ DNS** : 1 番目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **セカンダリ DNS** : 予備として使用される、プライマリ DNS に対する 2 番目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
- **ユーザー名** : PPPoE 選択した場合、ユーザー名を設定します。
- **パスワード** : PPPoE 選択した場合、パスワードを設定します。
- **QoS(DSCP)** : DSCP 基準に基づいて TCP/IP パケットヘッダを設定し、パケットの優先度を指定します。

- **2番目のIPアドレス** : 2番目のIPアドレスの有効/無効を設定します。
- **2番目のIPアドレス** : 2番目のIPアドレスを設定します。
デフォルトは 192.168.0.200 です。
- **2番目のサブネットマスク** : 2番目のサブネットマスクを設定します。
デフォルトは 255.255.255.0 です。
- **3番目のIPアドレス** : 3番目のIPアドレスの有効/無効を設定します。
- **3番目のIPアドレス** : 3番目のIPアドレスを設定します。
デフォルトは 192.168.0.200 です。
- **3番目のサブネットマスク** : 3番目のサブネットマスクを設定します。
デフォルトは 255.255.255.0 です。

IPv6 設定

[ネットワーク] > [IPv6 設定] では、本製品の IPv6 アドレスを設定できます。

IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS を入力し、[適用] をクリックします。

基本 >> ネットワーク >> IPv6設定

ネットワーク オン オフ

IPアドレス /64

デフォルトゲートウェイ

プライマリDNS

- **ネットワーク** : IPv6 アドレスのオン/オフを設定します。
- **IP アドレス** : IPv6 アドレスを設定します。
- **デフォルトゲートウェイ** : ゲートウェイを設定します。
- **プライマリ DNS** : IPv6 サービスの 1 番目 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

HTTP/RTSP

HTTP および RTSP は、信頼性の高い映像ストリーミングプロトコルです。ポート転送を設定することで、映像をインターネットで送信することができます。HTTP ポート番号の変更については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

[ネットワーク] > [HTTP/RTSP] から、HTTP、RTSP の各項目を設定します。

基本 >> ネットワーク >> HTTP/RTSP

HTTPポート

RTSPポート

ONVIF検索 オン オフ

RTCPチェック オン オフ

RTSP認証 オン オフ

エンコーダー1

エンコーダー2

エンコーダー3 (サービスなし)

エンコーダー4

- **HTTP ポート** : HTTP 接続で使用するポート番号を設定します。
- **RTSP ポート** : RTSP 接続で使用するポート番号を設定します。
- **ONVIF 検索** : オンにすると外部機器からの ONVIF 検索を有効にします。
- **RTCP チェック** : オンにすると RTCP パッケージの送信を有効化し通信を最適化します。
- **RTSP 認証** : オンにすると RTSP 接続時にユーザー名とパスワードを要求します。
- **エンコーダー** : エンコーダーの名前を変更します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

HTTPS

本製品は HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) サービスに対応しています。HTTPS とは、データがユーザーのコンピューターやウェブサイト間を行き来する際に、データの統合性や秘匿性を確保するためのインターネットプロトコルで、HTTP のセキュリティを強化したものです。セキュリティ認証として、SSL プロトコルが追加されています。送信される情報が暗号化されるため、セキュリティの向上を図れます。

本製品で HTTPS を有効するには、[ネットワーク] > [HTTPS] の [HTTPS] で [有効] を選択し、[保存] をクリックします。

基本 >> ネットワーク >> HTTPS

HTTPS 有効 無効

保存

HTTPS サービスには、2つの設定方法があります。

1つ目の設定方法は、自己署名証明書の作成です。[方法] の項目で [自己署名証明書の作成] を選択し、都道府県などの空欄に必要事項を入力した後 [証明書を作成] をクリックします。

[証明書作成中] の画面が表示された後、ステータスが [未設定] から [有効] に変更されます。

基本 >> ネットワーク >> HTTPS

項目	初期状態 (左)	変更後 (右)
HTTPS	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
HTTPSポート	443	443
ステータス	未設定	有効
方法	自己署名証明書の作成	自己署名証明書の作成
国	JP	JP
都道府県	Tokyo	Tokyo
市区町村	Shinjuku	Shinjuku
組織名	Sharp	Sharp
部署名	Business	Business
コモンネーム		
有効期限	365	
ボタン	証明書を作成	証明書を削除

2つ目の設定方法は、SSL 証明書を購入する方法です。[方法] の項目で [証明書の要求を作成およびインストールする] を選択し、必要事項を入力した後 [証明書の作成] をクリックします。

第三者機関から SSL 証明書を購入後、お使いのパソコンから SSL 証明書をダウンロードします。ダウンロードが成功すると、ステータスが [未設定] から [有効] に変更されます。

基本 >> ネットワーク >> HTTPS

HTTPS 有効 無効

HTTPSポート

ステータス 未設定

方法 証明書の要求を作成およびインストールする。▼

国

都道府県

市区町村

組織名

部署名

コモンネーム

基本 >> ネットワーク >> HTTPS

HTTPS 有効 無効

HTTPSポート 443

ステータス 認証待ち

ファイルのダウンロード

証明書の選択

方法 証明書の要求を作成およびインストールする。

国 JP

都道府県 Tokyo

市区町村 Shinjuku

組織名 Sharp

部署名 Business

コモンネーム

DDNS

本製品は、DDNS (Dynamic Domain Name Service) サービスに対応しています。DDNS サービスを使用することで、DNS サーバーを自動的にアップデートできます。

DDNS サービスを利用するには、[ネットワーク] > [DDNS] を選択し、「DDNS」で [有効] を選択します。

DDNS サーバーを選択してから必要事項を入力の上、[適用] をクリックし、変更を反映します。

基本 >> ネットワーク >> DDNS

DDNSサーバーアドレス

DDNS 有効 無効

ユーザー名

パスワード

ホスト名

<http://5292fc>

WAN側IPアドレス

- **DDNS サーバーアドレス** : 使用する DDNS サーバーを選択します。
- **DDNS** : DDNS サービスを利用する場合 [有効] を選択します。
- **ユーザー名** : DDNS で使用するユーザー名を設定します。
- **パスワード** : DDNS で使用するパスワードを設定します。
- **ホスト名** : DDNS ホスト名を設定します。
- **WAN 側 IP アドレス** : WAN の IP アドレスを設定します。

メモ：

- DDNS サービスを利用するには、インターネットに接続する必要があります。
- DDNS サーバアドレスの <http://www.dyndns.org> を選択すると、WAN 側 IP アドレスの項目と [更新] ボタンは表示されません。

SNMP

本製品は、SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しています。SNMP を利用することで、本製品および周辺のネットワーク機器 (ルーターなど) にネットワーク障害が発生した場合に、どの機器に障害が発生したのかわかるようになります。

SNMP を利用するには、[ネットワーク] > [SNMP] の「SNMP」で [有効] を選択します。

使用する SNMP の種類 (SNMP v1/v2 または SNMP v3) に応じて各項目を編集し、[適用] をクリックして変更を反映します。

基本 >> ネットワーク >> SNMP

SNMP 有効 無効

SNMP v1/v2

読み出し専用コミュニティ

読み出し/書込みコミュニティ

SNMP v3

ユーザー名

認証パスワード (MD5)

プライバシーパスワード (DES)

読み出し/書込みセキュリティ名

読み出し専用のセキュリティ名

SNMP ハートビート 有効 無効

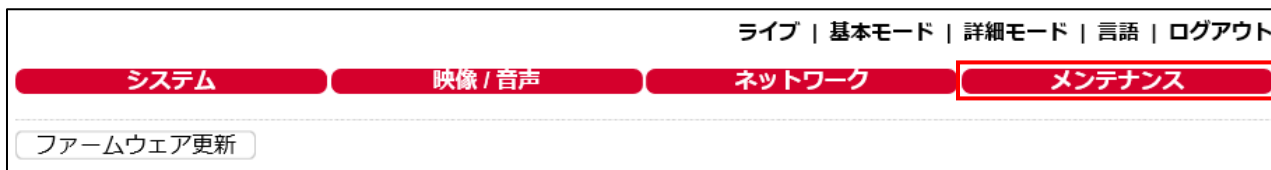
SNMP ハートビートサーバ

SNMP ハートビート間隔 秒

- **SNMP** : SNMP を利用する場合 [有効] を選択します。SNMP v1/v2 を利用する場合、以下の項目の設定が必要になります。
- **読み出し専用コミュニティ** : 読み出し専用のコミュニティ名を設定します。
- **読み出し/書込みコミュニティ** : 読み出し/書込み用のコミュニティ名を設定します。SNMP v3 を利用する場合、以下の項目の設定が必要になります。
- **ユーザー名** : ユーザー名を設定します。
- **認証パスワード (MD5)** : MD5 認証で使用するパスワードを設定します。
- **プライバシーパスワード (DES)** : DES 認証で使用するパスワードを設定します。
- **読み出し/書込みセキュリティ名** : 読み出し/書込み用のセキュリティ名を設定します。
- **読み出し専用セキュリティ名** : 読み出し専用のセキュリティ名を設定します。SNMP ハートビートを利用する場合、以下の項目の設定が必要になります。
- **SNMP ハートビート** : [有効] にすると SNMP ハートビートを利用できます。
- **SNMP ハートビートサーバ** : SNMP ハートビートサーバを設定します。
- **SNMP ハートビート間隔** : SNMP ハートビート間隔を 1 ~60 秒から選択します。

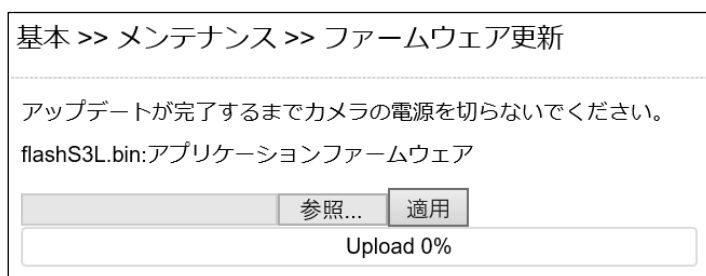
■メンテナンス

本製品のファームウェアを更新したり、本製品を初期化する（工場出荷時の設定に戻す）には、設定画面の [メンテナンス] タブを選択します。



ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するには、[参照...] をクリックし、アップデートファイルの保存場所を指定します。[適用] をクリックしてファームウェア更新を開始します。



ご注意：

- 更新中は本製品およびパソコンの電源を切らないでください。本製品に修復不可能な損傷が発生する恐れがあります。

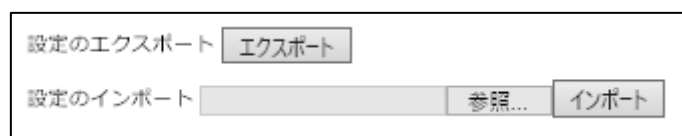
メモ：

- アップデートファイルは下記 URL からダウンロードすることができます。
<https://jp.sharp/business/security-camera/>

設定のエクスポート／インポート

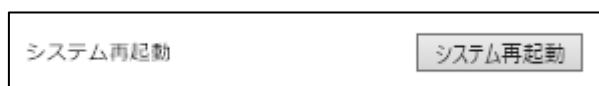
本機の設定を他機にエクスポートするには、「設定のエクスポート」の [エクスポート] をクリックします。

他機から設定をインポートするには、[参照...] をクリックしてインポートするファイルを指定し、[インポート] をクリックします。



システム再起動

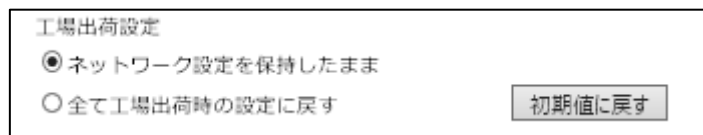
[システム再起動] をクリックすると、システムを再起動します。



工場出荷時設定

ユーザー設定や日時などのシステム設定および IP アドレス等のネットワーク設定を保持したまま、その他の設定項目を工場出荷時の設定（初期設定）に戻したい場合、[ネットワーク設定を保持したまま] を選択し、[初期値に戻す] をクリックします。

システム設定およびネットワーク設定を含むすべての設定を工場出荷時設定（初期設定）に戻すには、[全て工場出荷時の設定に戻す] を選択し、[初期値に戻す] をクリックします。



工場出荷設定

ネットワーク設定を保持したまま

全て工場出荷時の設定に戻す

初期値に戻す

ご注意：

- [全て工場出荷時の設定に戻す] を選択した場合、カメラの IP アドレスが初期値（192.168.0.200）に戻り、ユーザーアカウントもすべて消去されます。新しいユーザーアカウントを設定してください。

ログインパスワードを忘れた場合など、Web ブラウザーにアクセスできない場合、本体のリセットボタンから本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。

メモ：

- 本体のリセットボタンの位置は、本製品に同梱されている取扱説明書（基本編）の「本体各部のなまえと付属品」をご参照ください。

以下の手順を実行してください。

1. 電源が供給されている状態で本体の「リセットボタン」を 20 秒以上押し続けます。
2. リセットボタンから手を離します。
3. 約 40 秒後、設定が初期化され、自動的に再起動します。
4. Web ブラウザーから本製品にアクセスします。初期 IP アドレスは 192.168.0.200 です。
5. セキュリティ確保のため、初回ログイン時にユーザー名とパスワードを作成してください。

詳細設定

基本の設定よりも高度な設定について説明します。

設定画面の [詳細モード] を選択します。[基本モード] では表示されなかった [スマートイベント] と [通知] のタブが表示されます。また、基本モードから表示されていた [システム] [映像/音声] [ネットワーク] のタブにも設定項目が追加されます。本章では、[基本モード] から追加された項目について説明します。



■ システム設定

詳細モードでは、項目に「システムログ」が追加されます。



システムログ

[システムログ] では、システムが生成したログ情報を閲覧することができます。

[保存] をクリックすると、ログを CSV 形式でエクスポートできます。また、「検索」の入力欄にキーワードを入力してログファイルを検索することができます。

詳細 >> システム >> システムログ			
検索	<input type="text"/>		
ページ	1	▼	
IPアドレス	ユーザー	日時	ログ詳細
192.168.0.100	admin	2021/09/15 16:14:47	STREAM LOGOUT ENCODER 1 (SYSTEM MESSAGE)
192.168.0.100	admin	2021/09/15 16:12:57	USER LOGIN ENCODER 1 (SYSTEM MESSAGE)
		2021/09/15 16:06:34	POWER ON (SYSTEM MESSAGE)

■映像／音声設定

詳細モードでは、「画質 詳細」「ホワイトバランス調整」「デイナイト」「ROI」「プライバシーマスク」「音声」「レンズ歪曲補正」が加わります。



画質の詳細設定

[映像／音声] > [画質 詳細] から BLC、露出値、WDR、Auto Gain Control などの設定を行い、カメラの映像品質を調整することができます。

本製品では、デイモード、ナイトモードそれぞれについて映像品質を調整することができます。感度アップ機能を有効にすることで、特に暗所での映像を明るくすることができます。デイモード、ナイトモードの切り替えについては、後述のデイナイトから設定することができます。



- **BLC** : 逆光補正を調節します。詳しくは後述します。
- **露出値** : 露出の値を調節します。値が大きいほど映像が明るくなります。
- **WDR** : ワイドダイナミックレンジ（逆光環境でより鮮明な映像を撮影する機能）を設定します。オフ、自動、×2、×3、×4 から選択します。
- **シャッタースピード（秒）** : シャッタースピードの最小値と最大値を設定します。Auto を選択すると自動でシャッタースピードを調整します。
- **Auto Gain Control** : Auto Gain Control を調節します。詳しくは後述します。
- **感度アップ** : 感度アップ（暗所でより明るい映像を撮影する機能）を調整します。値が大きい程映像が明るくなります。
- **カラーモード** : 映像のカラー／白黒を切り替えします。
- **赤外線 LED** : 赤外線 LED の明るさを調節します。
- **赤外線カットフィルター** : 赤外線カットフィルターのオン／オフを切り替えします。
- **過剰露出軽減** : 赤外線の反射など強い光を軽減します。
- **初期値に戻す** : 設定を初期値に戻します。ただし、BLC の範囲は保存されます。

ご注意：

- 編集を開始したら、編集を終了するまでデイモード／ナイトモードを変更しないでください。

● **BLC（Back Light Compensation：逆光補正）**

本製品には、BLC 逆光補正機能が搭載されています。

「BLC」の「編集」をクリックすると、補正範囲設定画面が表示されます。明るく表示させたいエリアをクリックまたはドラッグして範囲を設定します。選択を解除する場合は、該当エリアを再度クリックします。「全て削除」をクリックするとすべての選択エリアを解除します。

設定後、「編集終了」をクリックすると元の画面に戻ります。

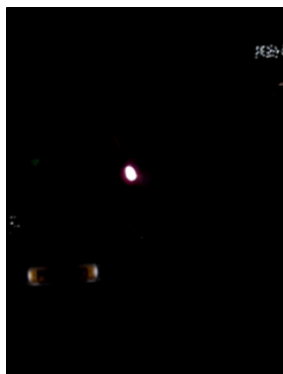


● Auto Gain Control (AGC)

Auto Gain Control (AGC) とは低光量の環境下でも良好な画質の映像を得ることができる機能です。デイモード/ナイトモードそれぞれ設定ができます。

AGC は、6/12/18/24/30/36/42/48/54/60 から選択でき、低光量の場合は大きい値を設定することで、より明るい映像を得ることができます。

AGC を使用しても映像が暗い場合は、感度アップをオンにしてください。ただし、感度アップを使用すると低光量下でモーションブラーが起きることがあります。



<6dB>



<42dB>

● 感度アップ

感度アップはスローシャッターで映像を明るく補正する機能です。特に低光量の環境下で効果を得られます。



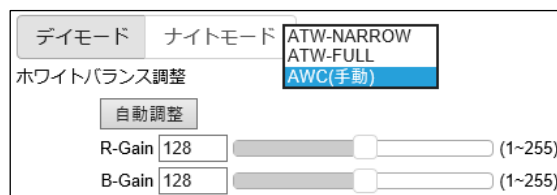
<オフ>



<x16>

ホワイトバランス調整

本製品には、ホワイトバランス調整機能が搭載されており、デイモード/ナイトモードそれぞれ設定ができます。



- **ホワイトバランス調整** : ホワイトバランス調整の方法を ATW-NARROW (自動/狭範囲) / ATW-FULL (自動/広範囲) / AWC(手動)から選択します。手動を選択した場合、次の項目を調整します。
- **自動調整** : 自動でホワイトバランスを調整します。
- **R-Gain** : ホワイトバランスの赤ゲインを調整します。
- **B-Gain** : ホワイトバランスの青ゲインを調整します。

デイナイト

[映像/音声] > [デイナイト] から、デイモード（カラー）とナイトモード（モノクロ）の切り替えについて設定できます。

「自動」（自動切り替え）、「デイモード」（デイモードに固定）、「ナイトモード」（ナイトモードに固定）、「スケジュール」（スケジュール切り替え）の中から選択できます。

- **自動** : 光センサーからの信号に従って自動でデイモードとナイトモードを切り替えます。切替遅延時間は、周囲の明るさが変わってからモードを切り替えるまでの時間です。
 デイからナイト、ナイトからデイへの切替閾値を基準として、デイモード／ナイトモードそれぞれに切り替わります。
- **デイモード** : 赤外線カットフィルターが常にオンとなります。映像は常時カラーで表示します。
- **ナイトモード** : 赤外線カットフィルターが常にオフとなります。映像は常時モノクロで表示します。
- **スケジュール** : 指定された時刻に自動でデイモードとナイトモードを切り替わります。

「デイナイト切替時のモーション検知」を有効にすると、デイモードとナイトモードを切り替える際にもモーション検知が有効になります。誤検知の可能性があるため、無効を推奨します。

デイナイト切替時のモーション検知無効時間は、「デイナイト切替時のモーション検知」が無効の場合にモーション検知機能を無効化する時間です。5/10/15/20/25/30 秒から選択できます。

ROI

カメラ映像のうち必要な領域を切り出して出力させる機能を ROI（Region of Interest）と言います。

[映像/音声] > [ROI] から ROI 機能を設定できます。



- **ROI** : ROI を利用するには、「ROI 有効」にチェックします。
- **ストリームプロファイル** : ストリームプロファイルを選択します。
- **プリセット** : プリセットを利用する場合にプリセット番号を設定します。16 個まで登録できます。登録するには [保存] をクリックします。[削除] をクリックすると選択しているプリセット番号の保存情報を削除します。[全て削除] をクリックするとすべてのプリセット情報を削除します。
- **休止時間** : プリセット位置での静止時間を設定します。
- **スピード** : パン/チルト/ズームのスピードを設定します。
- **アイコン操作**
 - ① ホームポジションに戻ります。
 - ② 矢印の方向に移動します。
 - ③ ズームイン/ズームアウトします。
 - ④ オートパン（自動でプリセット位置を巡回）を開始します。

ご注意：

- ROI、ePTZ は、レンズ歪曲補正が有効の場合、設定できません。

メモ：

- ROI を有効化すると、ライブ画面の ePTZ 操作パネルの表示が ROI に替わりますが、操作方法は同じです。

プライバシーマスク

本製品の映像上に、最大4箇所までプライバシーマスクを設定することができます。

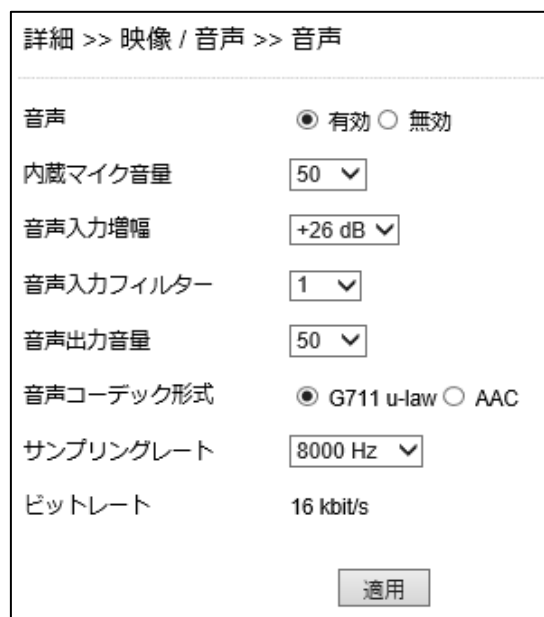
設定画面 [映像/音声] > [プライバシーマスク] を選択し、有効/無効で有効を選択します。マスク番号 (1~4) を選択し、映像上でマスクしたい部分をドラッグして指定します。

[削除] ボタンをクリックすると、選択しているマスク番号のマスクを削除します。
[全て削除] ボタンをクリックすると、すべてのマスクを削除します。



音声

[映像/音声] > [音声] から音声機能を設定できます。



- **音声** : 音声を利用するには、「音声」を有効にします。
- **内蔵マイク音量** : 内蔵マイクの音量を調整します。値を大きくすると小さい音まで收音できますが、その分、ノイズも大きくなります。
- **音声入力増幅** : 入力された音声を増幅することができます。0/20/26/32dB から選択します。
- **音声入力フィルター** : ノイズを制限するレベル値です。環境に応じて3通りの入力フィルターのレベルを設定します。
- **音声出力音量** : 音声出力のボリュームを設定します。

- **音声コーディング形式** : コーデック方式を選択します。
- **サンプリングレート** : サンプリングレートを設定します。
- **ビットレート** : ビットレートを表示します。

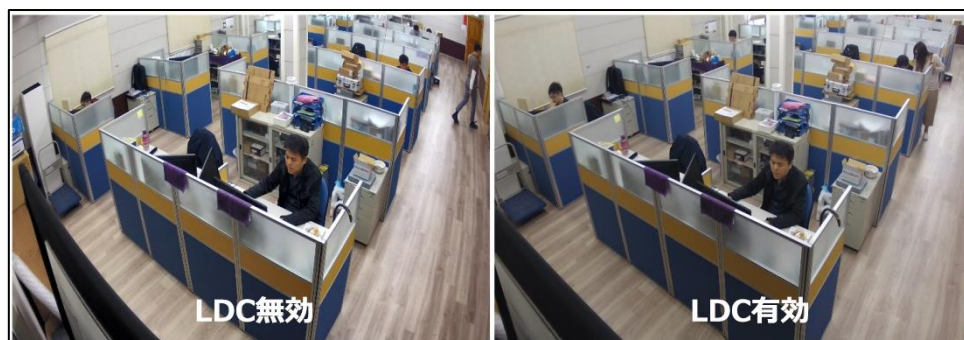
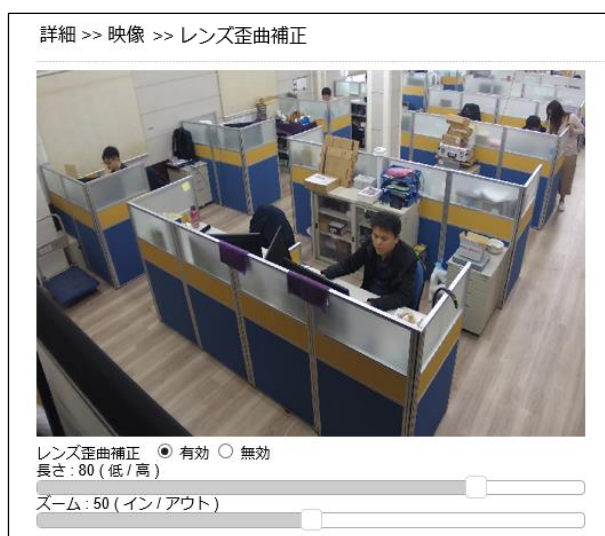
ご注意 :

- 音声、音声コーディング形式、サンプリングレートの設定切り替え後、[適用] をクリックすると再起動します。
- 音声コーディング形式やサンプリングレートについては、接続する機器によって制限がある場合があります。

レンズ歪曲補正

レンズ歪曲補正 (LDC) は、ソフトウェアによるワイドレンズ歪曲補正です。LDC 機能によって、レンズに起因する歪みを補正することができます。

[レンズ歪曲補正] の有効にクリックし、長さズームの値を変更して補正を調整します。



ご注意 :

- ROI、ePTZ、プライバシーマスクは、レンズ歪曲補正機能が有効の場合、利用できません。プライバシーマスクを有効にしている状態でレンズ歪曲補正機能を有効にすると、プライバシーマスクが自動的に無効になります。

■ ネットワーク設定

詳細モードでは、「マルチキャスト」「IP アドレスフィルター」「UPnP」「Bonjour」「SDDP／ハートビート」「MAC アドレスフィルター」「IEEE 802.1x」が加わります。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト

システム | 映像 / 音声 | **ネットワーク** | スマートイベント | 通知 | メンテナンス

一般設定
IPv6設定
HTTP/RTSP
HTTPS
マルチキャスト
IPアドレスフィルター
DDNS
UPnP
Bonjour
SDDP/ハートビート
SNMP
MACアドレスフィルター
IEEE 802.1x

マルチキャスト

マルチキャストを有効にすることで、一つのストリームを複製して複数のクライアントに配信することが可能になります。

[ネットワーク] > [マルチキャスト] から、各ストリームのマルチキャストの有効／無効、IP アドレス、ポート番号（映像／音声）、TTL（最大転送回数）を設定できます。

詳細 >> ネットワーク >> マルチキャスト

エンコーダー1	マルチキャスト	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	IPアドレス	<input type="text" value="239.0.0.0"/>
	映像ポート	<input type="text" value="1234"/> (2~65534)
	映像ポート(RTCP)	<input type="text" value="1235"/> (2~65534)
	音声ポート	<input type="text" value="1236"/> (2~65534)
	音声ポート(RTCP)	<input type="text" value="1237"/> (2~65534)
	TTL	<input type="text" value="5"/> (1~255)
エンコーダー2	マルチキャスト	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	IPアドレス	<input type="text" value="239.0.0.1"/>
	映像ポート	<input type="text" value="1238"/> (2~65534)
	映像ポート(RTCP)	<input type="text" value="1239"/> (2~65534)
	音声ポート	<input type="text" value="1240"/> (2~65534)
	音声ポート(RTCP)	<input type="text" value="1241"/> (2~65534)
	TTL	<input type="text" value="5"/> (1~255)
エンコーダー3	サービスなし	
エンコーダー4	マルチキャスト	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
	IPアドレス	<input type="text" value="239.0.0.3"/>
	映像ポート	<input type="text" value="5572"/> (2~65534)
	映像ポート(RTCP)	<input type="text" value="5573"/> (2~65534)
	音声ポート	<input type="text" value="5574"/> (2~65534)
	音声ポート(RTCP)	<input type="text" value="5575"/> (2~65534)
	TTL	<input type="text" value="5"/> (1~255)

IP アドレスフィルター

IP アドレスフィルターを設定することで、本製品のセキュリティを高めることができます。

本機能を利用するには、「IP アドレスフィルター」を有効にします。

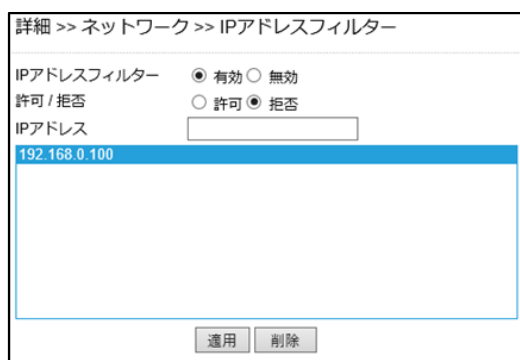
特定の IP アドレスからのアクセスだけを許可する場合は、「許可／拒否」で「許可」を選択し、許可する IP アドレスを入力して [適用] をクリックします。

ご注意：

- 「許可」する IP アドレスを設定する場合は、本製品にアクセスしているパソコンの IP アドレスを最初に設定してください。それ以外を設定すると、自動的にログアウトしカメラにアクセスできなくなるためご注意ください。

特定の IP アドレスからのアクセスを拒否する場合は、「許可／拒否」で「拒否」を選択し、拒否する IP アドレスを入力して [適用] をクリックします。

適用されると、設定した IP アドレスがリストに表示されます。

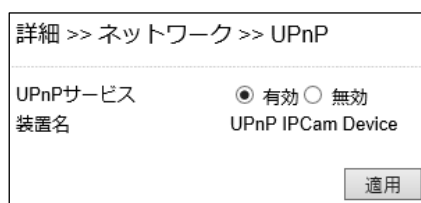


設定を取消したい場合は、リストから該当する IP アドレスを選択して [削除] をクリックします。

UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)サービスは、ローカルネットワーク環境においてお使いのパソコンでネットワークカメラを識別できるようにするネットワークプロトコルです。ネットワークに接続する機器同士が接続しやすくなります。

UPnP サービスを有効化するには、[ネットワーク] > [UPnP] の「UPnP サービス」を有効に設定し、[適用] をクリックします。



メモ：

- 本サービスは Windows パソコン以外では利用できません。

Bonjour

Bonjour は Apple によって実装されたゼロ・コンフィグレーション・ネットワークプロトコルです。

Bonjour サービスを有効化するには、[ネットワーク] > [Bonjour] の「Bonjour」を有効に設定し、装置名を入力して [適用] をクリックします。

SDDP / ハートビート

本製品は SDDP / ハートビートに対応しており、同サービスを介して対応デバイスと接続できます。

デバイスと接続する前に、[ネットワーク] > [SDDP / ハートビート] から [SDDP] および [ハートビート] を有効してください。

- ハートビートサーバー : ハートビートサーバーの有効 / 無効を設定します。
- ハートビートポート : ハートビートサーバーで使用するポートを設定します。
- ハートビート間隔 : ハートビート間隔の秒数を設定します。

MAC アドレスフィルター

MAC アドレスフィルターを設定することで、本製品のセキュリティを高めることができます。

本機能を利用するには、「MAC アドレスフィルター」を有効にします。

特定の MAC アドレスからのアクセスだけを許可する場合は、「許可 / 拒否」で「許可」を選択し、許可する MAC アドレスを入力して [適用] をクリックします。

ご注意：

- 「許可」する MAC アドレスを設定する場合は、本製品にアクセスしているパソコンの MAC アドレスを最初に設定してください。それ以外を設定すると、自動的にログアウトしカメラにアクセスできなくなるためご注意ください。

特定の MAC アドレスからのアクセスを拒否する場合は、「許可 / 拒否」で「拒否」を選択し、拒否する MAC アドレスを入力して [適用] をクリックします。

適用されると、設定した MAC アドレスがリストに表示されます。

設定を取消したい場合は、リストから該当する MAC アドレスを選択して [削除] をクリックします。

IEEE 802.1x

IEEE 802.1x を設定することで、本製品のセキュリティを高めることができます。

- **IEEE 802.1x** : IEEE 802.1x の有効/無効を設定します。
- **IEEE 802.1x ステータス** : IEEE 802.1x ステータスを表示します。
- **EAP 方式** : EAP 方式を EAP-PEAP/EAP-TLS から選択します。
- **ID** : ID を設定します。
- **パスワード** : パスワードを設定します。
- **パスワード確認** : パスワードを確認します。
- **CA 証明書** : CA 証明書をアップロードします。
- **ステータス** : ステータスを表示します。

EAP方式で EAP-TLS を選択した場合、下記項目が追加されます。

- **秘密鍵パスワード** : 秘密鍵パスワードを設定します。
- **クライアント認証** : クライアント認証をアップロードします。
- **クライアント個人キー** : クライアント個人キーをアップロードします。

EAP方式	EAP-TLS ▾
ID	<input type="text"/>
秘密鍵パスワード	<input type="text"/>
パスワード確認	<input type="text"/>
CA証明書 ステータス	<input type="text"/> 参照... アップロード 削除
クライアント認証 ステータス	<input type="text"/> 参照... アップロード 削除
クライアント個人キー ステータス	<input type="text"/> 参照... アップロード 削除
<input type="button" value="適用"/>	

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

■スマートイベント

スマートイベントでは、カメラが動体や妨害、ネットワーク異常などを検知した際にメール通知やFTP転送などのアクションを実行するように設定することができます。

本製品の検知機能には、モーション検知、アラーム検知、ネットワーク障害検知、妨害検知、ラインクロス検知、カラー検知、カウント機能があります。また、イベントが発生した際のアクションには、FTP転送、メール通知、SDカード録画などがあります。

スマートイベントを設定するには、まず、利用する検知機能を [IVS] から選択してください。その後、利用する検知機能について、機能の有効化および検知エリアや感度などを設定し、スマートイベントで、検知スケジュールや実行するアクションについて設定してください。実行するアクションの詳細については、[通知] から設定できます。



メモ：

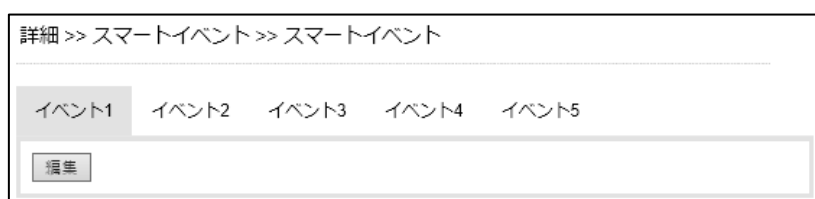
- [スマートイベント] で左側に表示されるメニューは、[IVS] で設定する内容によって変わります。工場出荷時状態では [IVS] で「モーション検知」が選択されており、上図のようにメニューが表示されます。
- [アラーム検知] [ネットワーク障害検知] メニューは、[IVS] の設定内容にかかわらず、常に表示されます。

スマートイベント

[スマートイベント] > [スマートイベント] から、イベントが発生した場合のアクションなどを設定/変更できます。

イベントは5つまで登録でき、各イベントについて有効/無効、イベント名、条件（1～5）、スケジュール、実行（設定した条件の内容が発生した際のアクション）を設定できます。

イベントを設定するには、設定するイベントを1～5から選択して [編集] をクリックします。



「イベントを有効」にチェックを入れ、[イベント名] および [条件名] を入力し、[トリガー] のタブを選択し、検知する条件（トリガー）や検知時間、休止時間を設定します。

- **検知時間** : 検知するまでの判定時間を設定します。
- **休止時間** : 検知してから、次の判定を開始するまでの休止時間を設定します。

メモ :

- [スマートイベント] > [IVS] で選択している検知機能によって、表示される検知条件（トリガー）が異なります。有効にしたい条件（トリガー）が表示されていない場合は、[IVS] で検知機能を変更してください。
- 複数の条件を設定した場合、全ての条件が満たされる必要があります。複数のトリガーを有効にした場合、全てのトリガーが満たされたとき、実行動作をします。

ご注意 :

- カウント機能は [トリガー] では利用できません。

検知スケジュールを設定するには、[スケジュール] のタブを選択し、イベント検知を有効にしたい時間帯を設定します。[休日リストを有効] のチェックボックスをオンにすると、[日時] で設定した休日リストのスケジュールに合わせてイベント検知が有効になります。

選択	スケジュール	開始時刻	終了時刻
<input checked="" type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59
<input type="checkbox"/>	毎日	0:0	23:59

イベント検知した際のアクションを設定するには、[実行] のタブを選択し、条件が発生した場合のアクションを設定します。すべて設定して [イベントを保存] をクリックします。

- **FTP 転送** : FTP サーバーにスナップショットを送信します。
- **メール通知** : スナップショットをメールで送信します。
- **SD カード録画** : SD カードに動画データを保存します。
- **Samba サービス** : Samba サーバーに動画データを保存します。
- **アラーム出力** : アラーム端子にアラームを出力します。
- **HTTP 通知** : 指定したウェブサイトのアラームを通知します。
- **SNMP トラップサービス** : SNMP トラップを送信します。

[休止時間] で、アクションを開始してから停止するまでの秒数を選択します。

IVS

スマートイベントで利用する検知機能を [スマートイベント] > [IVS] から選択します。検知機能を選択し、[適用] をクリックします。

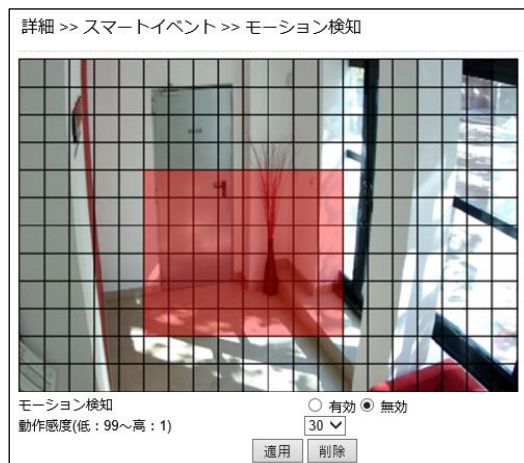
メモ :

- 高度なモーション検知は、夜間におけるモーション検知の誤検知を低減します。
- 選択した内容に応じて、[スマートイベント] のメニューや、[スマートイベント] 設定の条件の内容が変更されます。
- IVS の設定を変更すると、システムが自動的に再起動します。

モーション検知

モーション検知は、設定した検知エリアにおいて、動きがあったことを検知します。

モーション検知を設定するには、[スマートイベント] > [モーション検知] を選択します。検知エリアを、マウスのダブルクリックまたはドラッグで設定します。赤く表示されたエリアが検知エリアです。選択を解除するには、再度ダブルクリックするか、マウスの右ボタンでドラッグします。[削除] をクリックすると、すべての選択エリアを解除します。



- **モーション検知** : モーション検知の有効/無効を選択します。
- **動作感度** : 検知感度を設定します。数値が小さい程、小さい動きでも検知します。

ご注意:

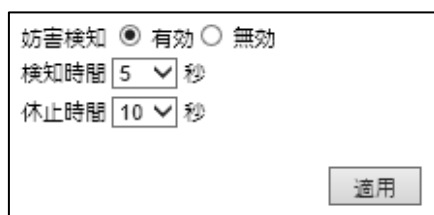
- 対象物、および照度などで精度に影響があります。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

妨害検知

妨害検知では、カメラの向き（視野）が変更されたり、レンズが布や塗料などで覆われたりして視野が遮られたことを検知します。

妨害検知を設定するには、[スマートイベント] > [妨害検知] を選択します。



- **妨害検知** : 妨害検知の有効/無効を選択します。
- **検知時間** : 妨害が発生してから検知するまでの判定時間を設定します。
- **休止時間** : 妨害を検知してから、次の判定を開始するまでの休止時間を設定します。検知のOSD表示を有効にしている場合、休止時間の間「T」マークが表示されます。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

高度なモーショント検知

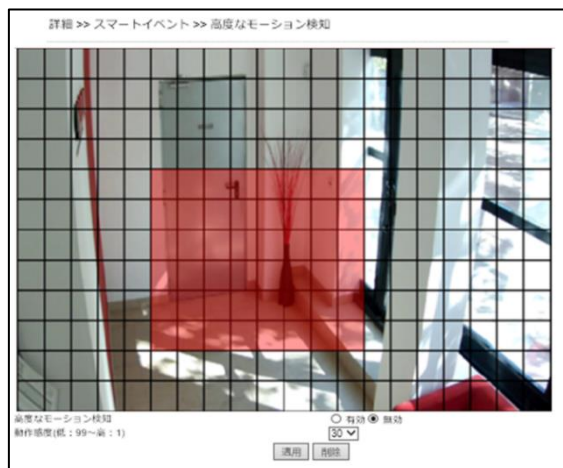
高度なモーショント検知では、特殊なフィルターを用いて動体を識別することで、より高精度の動体検知を実現します。これにより、誤検知の発生を軽減することができます。

高度なモーショント検知を設定するには、[スマートイベント] > [高度なモーショント検知] を選択します。

メモ：

- [スマートイベント] > [IVS] で [高度なモーショント検知] が選択されていない場合、メニューに「高度なモーショント検知」は表示されません。

検知エリアを、マウスのダブルクリックまたはドラッグで設定します。赤く表示されたエリアが検知エリアです。選択を解除するには、再度ダブルクリックするか、マウスの右クリックでドラッグします。[削除] をクリックすると、すべての選択エリアを解除します。



- **高度なモーショント検知** : 高度なモーショント検知の有効/無効を選択します。
- **動作感度** : 検知感度を設定します。数値が小さい程、小さい動きでも検知します。

ラインクロス検知/カラー検知

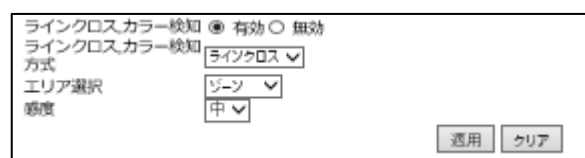
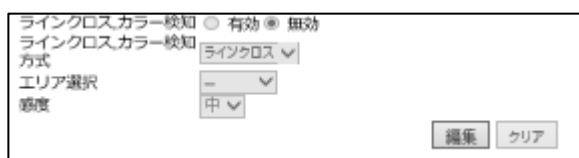
ラインクロス検知は、あらかじめ設定したラインを動体が横切ったことを検知します。カラー検知は、映像に赤/青/黄/緑が映ったことを検知します。

ラインクロス検知を設定するには、[スマートイベント] > [ラインクロス, カラー検知] を選択します。

メモ：

- [スマートイベント] > [IVS] で [ラインクロス, カラー検知] が選択されていない場合、メニューに「ラインクロス, カラー検知」は表示されません。

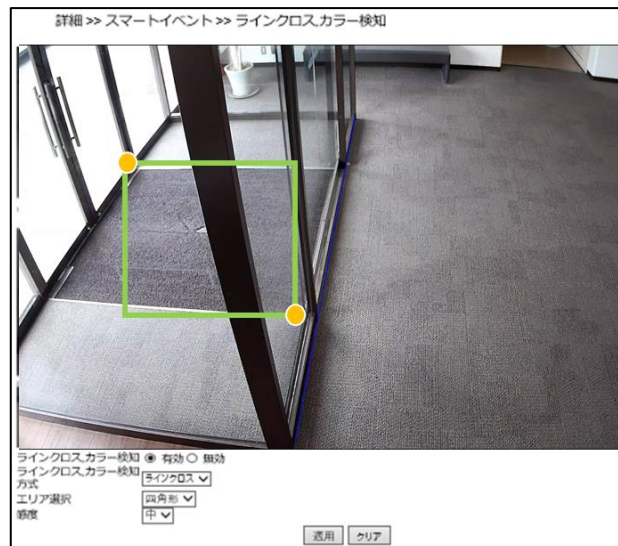
[編集] をクリックして、設定を編集します。



- **ラインクロス/カラー検知** : ラインクロス/カラー検知の有効/無効を選択します。
- **ラインクロス/カラー検知方式** : ラインクロス/カラー検知を選択します。

● ラインクロス検知

検知エリアの形状を、ゾーン（ライン）または四角形から選択できます。ゾーンの場合、設定したラインを動体が横切ったことを検知します。四角形の場合、設定した四角形の枠内に動体が侵入したことを検知します。



- エリア選択 : ゾーンまたは四角形から選択します。カメラ映像上でマウスをドラッグして検知エリア（ラインまたは四角形）を設定します。
- 感度 : 高／中／低から検知感度を選択します。

● カラー検知

検知エリアの形状を、ゾーン（ライン）または四角形から選択できます。ゾーンの場合、設定したライン上に指定色が映ると検知します。四角形の場合、設定した四角形の枠内に指定色が映ると検知します。

指定色は赤／黄／緑／青から選択できます。



- **エリア選択** : ゾーンまたは四角形から選択します。カメラ映像上でマウスをドラッグして検知エリア（ラインまたは四角形）を設定します。
- **感度** : 高／中／低から検知感度を選択します。
- **指定色** : 赤／黄／緑／青から選択します。
- **色識別精度** : 色の識別精度を設定します。数値が小さい程検知しやすくなります。

ご注意:

- カラー検知はデイモード時の機能となります。対象物、および照度などで精度に影響があります。

カウント機能

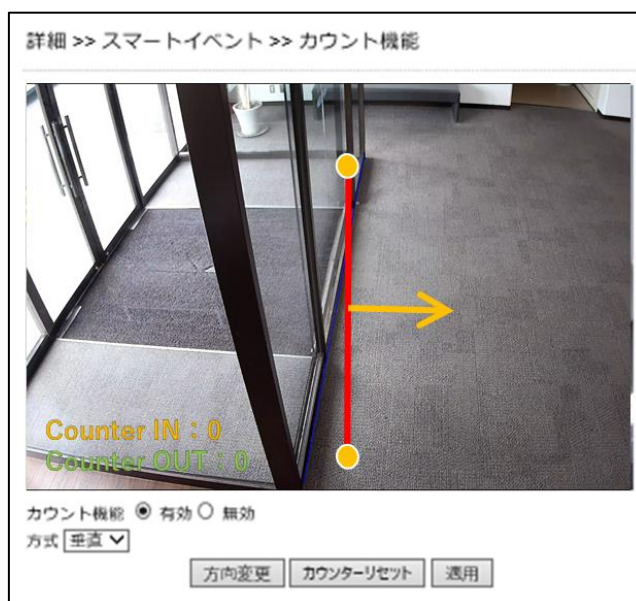
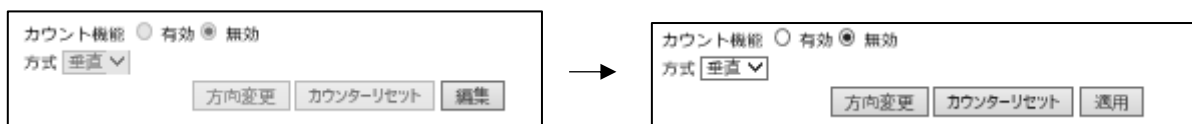
カウント機能は、設定したラインを指定の方向およびその反対方向に横切った動体をカウントする機能です。

カウント機能を設定するには、[スマートイベント] > [カウント機能] を選択します。

メモ:

- [スマートイベント] > [IVS] で [カウント機能] が選択されていない場合、メニューに「カウント機能」は表示されません。

[編集] をクリックして、設定を編集します。



- **カウント機能** : カウント機能の有効／無効を選択します。
- **方式** : カウントするラインの向きを垂直／水平から選択します。
- **方向変更** : カウントを実行する方向を設定します。
- **カウンターリセット** : カウント数（Counter IN／OUT）を 0 にリセットします。Counter IN は指定の方向、Counter OUT はその反対方向に横切った動体のカウント数です。

音声検知

音声検知は、音が音声検知トリガレベルを超えたことを検知します。

音声検知を設定するには、[スマートイベント] > [音声検知] を選択します。

詳細 >> スマートイベント >> 音声検知



音声検知 有効 無効

音声検知OSD 有効 無効

音声検知トリガレベル (イージー: 1~ハード: 99)

音声検知感度(低: 1~高: 99)

- **音声検知** : 音声検知の有効/無効を選択します。
- **音声検知 OSD** : 音声検知 OSD の有効/無効を選択します。
- **音声検知トリガレベル** : 音声検知が作動するレベルを設定できます。
- **音声検知感度** : 音声を検知する感度を設定できます。

アラーム検知

本製品は NO (ノーマルオープン) および NC (ノーマルクローズ) コントロールインターフェースに対応しています。

本製品にセンサーなどの外部アラーム入力機器を接続します。次に、[スマートイベント] > [アラーム検知] から、接続する機器に合わせて NO (ノーマルオープン) か NC (ノーマルクローズ) かを選択します。

詳細 >> スマートイベント >> アラーム検知

アラーム入力モード NO NC

ネットワーク障害検知

ネットワーク障害検知では、ネットワーク遮断を検知することができます。

詳細 >> スマートイベント >> ネットワーク障害検知

ネットワーク障害検知

無効

ネットワークの検出なし

ストリーム接続の検出なし

適用

ネットワークの障害検知は以下から選択できます。

- **無効** : ネットワーク障害検知を無効にします。
- **ネットワークの検出なし** : 外部とのネットワーク接続が遮断されたことを検知します。
- **ストリーム接続の検出なし** : NVR などの映像受信機に映像ストリームを送信できないことを検知します。

メモ :

- PoE からカメラに電源供給している為、ネットワーク接続が遮断されると同時に電源も遮断されます。スマートイベントで検出後のアクションを設定していても実際には実行できません。ただし、カメラのシステムログに、ネットワーク障害を検知した記録は残ります。

■通知

通知では、[スマートイベント]の「実行」で設定したアクションの詳細条件を設定することができます。

通知について設定するには、[通知]を選択し、左側に表示される[FTP転送][メール通知][HTTP通知][SDカード録画][SDカードバックアップ][Sambaサービス][MQTTサービス]メニューから、設定したい項目を選択してください。

ライブ | 基本モード | 詳細モード | 言語 | ログアウト

システム
映像 / 音声
ネットワーク
スマートイベント
通知
メンテナンス

FTP転送

メール通知

HTTP通知

SDカード録画

SDカードバックアップ

Sambaサービス

MQTTサービス

詳細 >> 通知 >> FTP転送

FTPサーバー名	FTPサーバーアドレス	ポート
FTPServerName	ftp.server.com	21
FTP2ServerName	ftp.server2.com	21
FTP3ServerName	ftp.server3.com	21

FTP 転送

スナップショットをFTPサーバーに送信することができます。

[通知] > [FTP 転送] から設定するFTPサーバーを選択し、必要なFTP情報を入力します。

詳細 >> 通知 >> FTP転送

FTPサーバー名	FTPサーバーアドレス	ポート
FTPServerName	ftp.server.com	21
FTP2ServerName	ftp.server2.com	21
FTP3ServerName	ftp.server3.com	21

FTPサーバーNo.

FTPサーバー名

FTPサーバーアドレス

FTPサーバーポート

アカウント

パスワード

ディレクトリ

日付形式

プレフィックス

サフィックス

ファイル形式

FTP自動転送 有効 無効

FTP自動転送間隔

FTPサーバーとして、3つのFTPサーバーが設定できます。

- **FTPサーバーNo.** : FTP転送のサーバーNo.を選択します。
- **FTPサーバー名** : FTPサーバーの名前を設定します。
- **FTPサーバーアドレス** : FTPサーバーのアドレスを設定します。
- **FTPサーバーポート** : FTPサーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : FTPサーバーにログインするためのユーザーアカウント名を設定します。
- **パスワード** : アカウントのパスワードを設定します。
- **ディレクトリ** : JPEGスナップショットを保存するファイルパスを設定します。

- **日付形式** : 送信ファイル名（日付）の表示形式を選択します。
- **プレフィックス** : JPEG ファイル名のプレフィックス（接頭辞）を設定します。
- **サフィックス** : JPEG ファイル名のサフィックス（接尾辞）を設定します。
- **ファイル形式** : FTP 転送するエンコーダーを選択します。
- **FTP 自動転送** : FTP 自動転送（一定の時間間隔で FTP 転送を実行します）の有効／無効を選択します。
- **FTP 自動転送間隔** : FTP 自動転送する時間間隔を選択します（1 秒～1 日）。

メモ：

- ディレクトリのファイルパスは、半角英数字で設定する必要があります。

メール通知

スナップショットを e メールで送信することができます。

[通知] > [メール通知] を選択し、必要な情報を入力してください。

メール受信者 設定

- **メールアドレス 1~5** : 受信するメールアドレスを設定します。最大 5 件まで設定できます。

メール送信者 設定

- **メールアドレス** : 送信するメールアドレスを設定します。
- **SMTP サーバーアドレス** : メールサーバーのアドレスを入力します。
- **SMTP 認証** : 認証方式を選択します。
- **SMTP ポート** : ポート番号を設定します。初期ポート番号は 25（メールサーバーポート）です。
- **認証** : メールサーバー認証の有効／無効を選択します。
- **認証アカウント** : メールサーバーのアカウント名（ユーザー名）を入力します。
- **認証パスワード** : メールサーバーのパスワードを入力します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

[テストメール送信] で正しく設定されているか確認できます。

ご注意：

- [テストメール送信] は [適用] をクリックしてから行ってください。

HTTP 通知

POST プロトコルを介してウェブサイト上に通知することができます。

[通知] > [HTTP 通知] を選択し、設定する HTTP POST サーバーを選択します。

詳細 >> 通知 >> HTTP通知

No.	HTTP POST サーバー名	HTTP POSTサーバーアドレス	ポート	添付ファイルフォーマット
1	httpservername	httpserver.com	80	テキスト
2	http2servername	httpserver.com	80	テキスト
3	http3servername	httpserver.com	80	テキスト
4	http4servername	httpserver.com	80	テキスト
5	http5servername	httpserver.com	80	テキスト
6	http6servername	httpserver.com	80	テキスト
7	http7servername	httpserver.com	80	テキスト
8	http8servername	httpserver.com	80	テキスト
9	http9servername	httpserver.com	80	テキスト
10	http10servername	httpserver.com	80	テキスト

HTTP POST サーバー名: httpservername

HTTP POSTサーバーアドレス: httpserver.com

HTTP POSTサーバーポート: 80

アカウント: admin

パスワード: ●●●●

HTTP POST URL: /url

添付ファイルフォーマット: JPEG テキスト

添付ファイルフォーマット: /json

HTTP POST JSON

適用

- **HTTP POST サーバー名** : HTTP POST サーバーを設定します。
- **HTTP POST サーバーアドレス** : HTTP POST サーバーの IP アドレスを設定します。
- **HTTP POST サーバーポート** : HTTP POST サーバーのポート番号を設定します。
- **アカウント** : アカウント名を入力します。
- **パスワード** : パスワードを入力します。
- **HTTP POST URL** : HTTP POST を送信するための CGI コマンドを設定します。利用可能な記号は次ページを参照してください。
- **添付ファイルフォーマット** : 送信ファイルの形式を JPEG/テキストから選択します。
- **HTTP POST JSON** : テキスト選択時、送信するメッセージを設定します。利用可能な記号は次ページを参照してください。
- **ファイル形式** : JPEG 選択時、送信するエンコーダーを選択します。
- **JPEG ファイルフォーマット** : JPEG 選択時、一定/日付を選択します。一定は、ファイル名のまま、日付はファイル名の前に日時が追加されます。
- **JPEG ファイル名** : JPEG 選択時、送信するファイル名を設定します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

HTTP POST URL および HTTP POST JSON 利用可能な記号とメッセージ例は次のとおりです。

%mac_addr% => MAC アドレス

%YYYY% => 年

%MM% => 月

%DD% => 日

%hh% => 時

%mm% => 分

%ss% => 秒

HTTP POST URL メッセージ例を以下に示します。

/API_EXAMPLE?MAC_Address=%mac_addr%&YEAR=%YYYY%

/API_EXAMPLE?MAC_Address=**.**.**.**.**.**&YEAR=2021

HTTP POST JSON メッセージ例を以下に示します。

{MAC_Address:"%mac_addr%",YEAR="%YYYY%"}

{MAC_Address:"**.**.**.**.**.**",YEAR="2021"}

..**.**.**.** : MAC アドレス

SD カード録画

SD カードに映像を録画することができます。

[通知] > [SD カード録画] から、SD カード録画を設定します。

SD 録画を有効化する前に、本製品に SD カードが適切に挿入されていることを確認してください。

- **SD 録画** : SD 録画のオン/オフを選択します。
- **SD 録画 OSD** : ライブ画面上の SD 録画表記のオン/オフを選択します。
- **SD カード常時録画** : SD カード常時録画のオン/オフを選択します。
- **録画形式** : SD カードに録画するエンコーダーを選択します。
- **プレ録画時間** : イベント発生時、イベント発生直前の映像を SD カードに録画する時間を選択します。
- **SD カード状態** : SD カードの状態を表示します。
- **SD カードスロット** : SD カードの挿入/未挿入を表示します。

- **SD カード容量** : SD カードの録画容量を表示します。
- **SD カード空き容量** : SD カード録画容量のうち、録画可能な容量を表示します。

設定後、[適用] をクリックして設定内容を保存します。

- **マウント解除** : SD カードの認識を解除して、安全に SD カードを取り外せるようにします。
- **マウント** : SD カードを認識させ、SD カードを利用可能な状態にします。
- **フォーマット** : SD カードを初期化します。新品の SD カードや、ほかの機器で使用していた SD カードを本製品ではじめて使用する場合はクリックし、フォーマットしてください。

ご注意：

- SD カードを取り出す前に必ず [マウント解除] をクリックしてください。SD カードがマウントされた状態で取り出すと、ファイルシステムが壊れる可能性があります。
- フォーマットすると、SD カード内のデータがすべて消去されます。フォーマットをする前に、必要なファイルは事前にコピーしてください。

SD カードバックアップ

SD カードに録画されたデータのうち、特定のクリップをパソコンにバックアップすることができます。

[通知] > [SD カードバックアップ] を選択し、該当ファイルをクリックして動画データをパソコンに保存します。

録画されたデータを削除したい場合、該当ファイルにチェックを入れて [削除] ボタンをクリックします。1 度に 10 個まで削除できます。

[更新] ボタンをクリックすると、リストが更新されます。

また、該当ファイルの右側に表示されるアイコンをクリックして、映像を確認（再生/停止）することができます。（映像のプレビューのため、音声は再生されません。）



メモ：

- SD カードが未挿入の場合、[削除] [更新] ボタンのみ表示します。

Samba サービス

Samba サービスは、Microsoft の Windows ネットワークを実装したフリーソフトウェアで、Windows のファイルサーバーやドメインコントローラ機能などを提供するサービスです。

本製品のストリーミング映像を Samba サーバーに録画できます。常時録画とプレアラーム録画が利用可能です。

この機能を使用するには、[通知] > [Samba サービス] を選択し、Samba サービスの必要情報を入力します。常時録画の設定が可能で、Samba サーバーの容量が一杯になった場合は、最も古い録画ファイルに上書きして保存します。

詳細 >> 通知 >> Sambaサービス

Samba 録画	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
Samba 録画OSD	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
Samba 常時録画	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
録画形式	エンコーダー1 ▼
プレ録画時間	5 ▼ 秒
Samba サーバーアドレス	192.168.0.100
Samba サーバーポート	5000
Samba サーバーアカウント	admin
Samba サーバーパスワード	●●●●
Samba サーバーディレクトリ	/Public
Samba 状態	NORMAL
Samba 接続状況	Samba 未接続
Samba 容量	0 MBytes
Samba 空き領域	0 MBytes

<http://192.168.0.100:5000>

適用 接続解除 接続

- **Samba 録画** : Samba 録画のオン/オフを選択します。
- **Samba 録画 OSD** : ライブ画面上の Samba 録画表記のオン/オフを選択します。
- **Samba 常時録画** : Samba 常時録画のオン/オフを選択します。
- **録画形式** : エンコーダーを選択します。
- **プレ録画時間** : イベント発生時、イベント発生直前の映像を Samba サーバーに録画する時間を選択します。
- **Samba サーバーアドレス** : Samba サーバーの IP アドレスを設定します。
- **Samba サーバーポート** : Samba サーバーのポート番号を設定します。
- **Samba サーバーアカウント** : Samba サーバーのアカウントを設定します。
- **Samba サーバーパスワード** : Samba サーバーのパスワードを設定します。
- **Samba サーバーディレクトリ** : Samba サーバー上の録画ファイル保存先のディレクトリパスを設定します。
- **Samba 状態** : Samba サーバーの状態を表示します。
- **Samba 接続状況** : Samba サーバーの接続ステータスを表示します。
- **Samba 容量** : Samba サーバーのストレージ容量を表示します。
- **Samba 空き領域** : Samba サーバーの空きストレージ容量を表示します。

メモ :

- Samba サーバーディレクトリのファイルパスは、半角英数字で設定する必要があります。

MQTT サービス

本製品は、(1)イベント通知、(2)コントロール、(3)リターンの3つのMQTT サービスに対応しています。また、Publish と Subscribe のサービスに対応しています。

この機能を使用するには、[通知] > [MQTT サービス] を選択し、MQTT サービスの必要情報を入力します。

詳細 >> 通知 >> MQTTサービス

MQTT ステータス 有効 無効

MQTT サーバ

MQTT ポート

MQTTクライアントID

MQTT UUID

認証 有効 無効

ユーザー名

パスワード

Publish:
ipcam/646_000ffc5292fa/device/event

Subscribe:
ipcam/646_000ffc5292fa/device/event

- **MQTT ステータス** : MQTT サービスの有効/無効を設定します。
- **MQTT サーバ** : MQTT サーバー名を設定します。
- **MQTT ポート** : MQTT サービスで使用するポートを設定します。
- **MQTT クライアント ID** : カメラ固有のクライアント ID を設定します。
- **MQTT UUID** : カメラの MQTT ID を設定します。
- **認証** : 認証機能の有効/無効を設定します。
- **ユーザー名** : MQTT サーバー認証用のユーザー名を入力します。
- **パスワード** : MQTT サーバー認証用のパスワードを入力します。

お客様ご相談窓口のご案内

本製品の使い方など一般のご相談ならびに修理についてのご相談・ご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記ご相談窓口へご連絡ください。

修理ご相談窓口

シャープマーケティングジャパン株式会社 ビジネスソリューション社



<全国共通>

0570-006-008

■ 受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40

(日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます)

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

携帯電話からもご利用いただけます。

IP 電話をご利用の方は…

043-332-9957 (東日本)

06-6794-9677 (西日本)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の取り扱いの詳細については、
<https://corporate.jp.sharp/privacy-j.html> をご参照ください。

電話番号、受付時間などについては、変更になることがあります。(2022年6月現在)

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地